
福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

横浜市大倉山保育園

添付書類	ページ
評価結果総括表	P1
評価結果についての講評	P2～5
横浜市福祉サービス第三者評価(保育分野)	P6～43
保育観察／子ども本人聞き取りシート A	P44～45
利用者アンケート結果	P46～47
利用者アンケート集計結果(グラフ表示含む)	P48～53

平成 30 年 3 月 30 日

公益社団法人 けいしん神奈川

横浜市（大倉山保育園）福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）

事業所	大倉山保育園
報告書作成日	平成 30 年 3 月 27 日（評価に要した期間 約 5 か月）

評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川
------	----------------

評価方法

自己評価 (実施期間：29年11月29日 ～29年12月28日)	自己評価係が、全職員に自己評価票を配布し、記入の仕方を説明した後、各自自己評価を行った。係が自己評価票を回収し、集計をした。その後、係が全職員に対し、集計結果を報告し、それを基に全員で各項目について再度やり取りして検討し、保育園としての自己評価にまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施期間：30年1月22日及び 25日)	評価調査員（3名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、保育士、栄養士、調理師、事務職員）を行った。職員ヒアリングは2日目の午睡時に乳児担当と幼児担当の2つのグループに分かれて実施した。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間：29年12月4日 ～29年12月15日)	アンケート書類を利用者全世帯の保護者に職員から渡し、無記名にて記入していただき、「けいしん神奈川」へ郵送にて回収した。
利用者本人調査方法 (実施日：30年1月22日及び25日)	観察調査は、主に各クラス保育室及びホールにて実施した。 聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施した。

評価結果についての講評

<p>施設の特徴</p> <p>1 保育面での特色沿革と立地環境</p> <p>横浜市大倉山保育園は、1975年7月7日に60名定員の横浜市立保育園として開園し、2011年4月1日からは神奈川県匡済会の運営となった。移管の直前に東日本大</p>
--

震災があり、当時築 35 年の園舎の老朽化が心配され、すぐに園舎建て替えの準備に取り掛かった。保護者会や近隣の方々の協力を得て、仮園舎での保育を経て、2014 年 3 月 10 日に新園舎が竣工。園舎は、三角形の地形を生かした穏やかな扇型の白亜の鉄筋コンクリート 2 階建てとなり定員も 90 名に拡大した。東急東横線大倉山駅から徒歩 7 分の所に位置し、周囲は東京・横浜市内に通勤する人の住宅地域となっており、近隣には大倉山梅林等公園も多い。園舎は日当たりが良く、閑静さと相まって良好な保育環境下にある。

2 保育面での特色沿革と立地環境

保育目標「のびのびと元気にあそぶ子ども・ともだちと育ち合う子ども」を掲げ、園姿勢は一人一人を大切にするとともに、豊かな経験を通して成長・発達を保障する。また、保護者や地域の方と一緒に楽しく子育てすることを基本としている。具体的な保育の内容としては、「からだづくり」「異年齢保育」「食育」「保護者会・地域と共に」の取り組みを特色としている。

特に優れていると思われる点

1. 利用者本人を尊重した保育を実践しています。

子ども一人一人のありのままの姿勢を受け入れ、のびのびと元気で安心して生活できる環境を作っています。まず施設面では 2014 年 3 月に新しい園舎が竣工し、園舎の中は明るく広い空間を有するモダンな施設となっています。園の屋内外とも常に清潔に保たれており、また施設内の温度や湿度についても日々管理されており快適な施設環境が確保されています。

このような快適な環境の下、各々の子どもの個性や成長に合わせて保育を実践し、一人一人を大切に育て発達状況に応じて個別に対応するよう心掛けています。保育課程に基づいた指導計画を基本としつつ、子ども一人一人の状況に応じ対応を変えています。その際にはクラス内で日々話し合い、結果をミーティングで全員に周知し、全職員が同じ対応ができるようにするとともに一人一人の状況に柔軟に対応できるよう努めています。

子どもが自発的、意欲的に過ごせるような環境づくりにも努めています。その時々の子どもの状況に合わせて玩具の配置を置き換えています。また保育室内はそれぞれの年齢に合った玩具等の配置になっています。幼児クラスでは子どもが好む絵本からごっこ遊びや劇遊びに発展させ、それに必要なものをつくる造形活動へとつなげ、自主性を育てています。例えばお泊り保育のために近くの商店街に食材の買物に行きます。お店の方とのやり取りが、定例行事の「おみせやさんごっこ」につながっています。

2. 給食を充実することで食事の楽しさを伝え、子どもの健康管理に配慮しています。

利用者アンケートから「給食の献立」、「給食を楽しんでいるか」については「満足」

「どちらかといえば満足」を合わせると95%を超える高い満足度の状況にあります。クッキングのお手伝いや栽培した野菜の調理、また親子クッキングの機会を設けて食に対する興味を深めています。それ以上に給食室の設備等が充実しているところが当園の特色です。

給食室はホール横に大きく位置し全面ガラス張りで解放感があります。子どもは調理室の様子が見えるので、日頃から調理の様子や食材のにおいなどを感じとり旺盛な食欲につながっています。厨房からも子どもの様子がわかるので、アイコンタクトを通してお互いに親近感が育まれています。調理室の壁には職員3名のネーム入り顔写真が掲載されているので子どもたちは調理員の名前を覚えています。「〇〇先生、今日の給食おいしかったよ」と声を掛けられると調理員は残食ゼロを目指して益々張り切り、日々の献立には栄養と愛情が込められています。調理員は保育士と連携し苦手な食材などは事前に減らすなど個別ごとの対応をすることで「完食した」という達成感が得られるよう配慮しています。また子どもは個人差が大きいので、栄養士は個人毎の栄養表で子どもの栄養状況をチェックし健康管理にも大いに貢献しています。

3. 異年齢の子ども同士により、互いに認め合い共に育ち合うことを大切にして保育を実践しています。

異年齢保育については年間計画に基づいて積極的に運営しています。異年齢の子どもたちがぶどうの房のように仲良くくっつきあって共に成長できるように異年齢保育を「なかよしぶどう」と称し、異年齢の集団で生活することがあります。特に夏の期間は幼児を「かき氷グループ」と「アイスグループ」の2つの縦割りグループをつくり日常生活の中で異年齢保育を行っています。また運動会、お楽しみ会、おみせやさんごっこ、異年齢手つなぎ散歩等定期的に多くの交流の場を設けています。

ホールで乳児が遊んでいると2階から幼児が降りてきて年下の子どもにやさしく接し、いたわり、自分のできることを自然な形で教えています。異年齢の交流により年長児はお兄さん、お姉さんとしての関わりやお手本を自覚し、年少児は年長児をまね、憧れの存在として認め、お互いに良い関係を築きながら、共に育ちあう保育を実践しています。他方保育士にとっても交流を通して他のクラスの子どもを理解する絶好の機会であり保育士どうしで情報を共有しながら保育の質を高めています。

4. 地域に開かれた保育園を目指し、地域との絆を深めています

保育園は、町内会・自治会である「あけぼの会」に賛助会員として参加し、平素から地域の方々と交流しています。毎月発行する「地域だより」を自治会の回覧板や掲示板に掲示していただき、園児が楽しく過ごしている写真、育児相談、交流保育、園庭・施設開放、育児講座などを地域の方々にお知らせし、来園を呼びかけています。本法人匡済会のホームページ内に園のページを設けて情報発信をしています。さらに、匡済会のブログ内に園のブログを設け、イベントの様子などの情報発信をしています。

園庭開放は週1回、7月～8月にかけてプールを5日間開放します。交流保育は、テーマに「色水遊び」「楽器を作って遊ぼう」「バルーンで遊ぼう」「ふれあい遊び」「リズム遊び」を選び、年5回実施しています。食育講座「保育園で港北野菜をいただき

ます！」を毎年実施し、今年は給食室で調理したサツマイモなどを味わいました。絵本の貸し出しやベビーステーション事業に参加し、子どもを抱える保護者に利便性を提供しています。港北区役所で開催される「わくわく子育て広場」や樽町ケアプラザで開催される「にこにこ広場」に参加し、未就園児を抱える親に情報を発信しています。

育児相談は、毎週木曜日に実施しています。来園だけでなく、電話による相談も随時受け付けていますが、主に来園された方との触れ合い、ちょっとした会話、相談などから地域の子育てニーズを把握するように努めています。

園は、七夕、スイカ割り、運動会、お楽しみ会などの年間行事に、地域の方々を招待して交流を深めています。年長児は、大曽根第二公園の公園清掃に、毎月参加し、地域の高齢者の方々と交流をしています。大曽根南公園で開催される地域のお祭りには、子ども神輿が出されるので、神輿の担ぎ手として、園児が参加しています。大倉山公園の観梅会では、近隣保育園と合同での発表や園単独での発表など、園児たちがステージで演じています。このように、園では、地域の方々との触れ合いを大切に、地域との絆を深めるようにしています。

5. プリセプター制度は、新人だけでなく、先輩の能力向上にもつながります

新入保育士を育成するために、プリセプター制度を取り入れています。同じクラスの先輩保育士が新入保育士に業務の進め方や業務の心構えを指導するとともに、職場の人間関係や社会生活における不安や悩みを聞き、アドバイスを行う人材育成制度です。

年間保育期の4期に合わせる形で振り返りシートがあります。新入保育士が振り返りシートに学習目標を自己申告、結果を記入、先輩からの適切なアドバイスで、知識や保育技術が身につくようになります。年4回繰り返します。新入保育士は、先輩職員とやり取りする中で親近感を感じ、フランクな気持ちで、様々なことも相談できます。先輩保育士も、新入保育士に尋ねられ、曖昧な知識であったなら調べるなどをして返事をします。先輩保育士も、新入保育士に教えることで、曖昧な知識や技術をより確実なものすることができます。

更なる改善努力が期待される点

1. 各種マニュアルについて使い勝手の良い整備が望まれます

保育園では職員の保育に関わる共通理解、判断基準、サービスの標準化などのために事故防止・事故対応マニュアル、衛生管理マニュアル等多種類の業務マニュアルを備えています。毎年度末には職員が当該年度の活動状況を振り返りますが、その際にマニュアルの見直しも行っています。マニュアルを見直した経緯などは、どの職員が見てもわかるように変更履歴などで引き継いで行くことが必要と考えられます。引き継ぎの連続性を維持することで、より使い勝手の良いマニュアルづくりが期待されます。

2. 主任クラスの誕生で、保育相談がより深まることが期待されます

当法人の人事体系は初級から始まり、知識や経験を積み重ねることで、中堅、熟練、運

営、経営職へと進んでいきます。今年度は主任が不在なことから、リーダー会議（クラスのリーダー、栄養士、フリー、事務で構成）を設定し、実質的に主任の役割を担うようにしています。

保育士が保育に関する相談をしたい場合には、中堅クラスのフリー保育士やクラスのリーダーに相談をしますが、お互いに遠慮があり、十分に意を尽くせぬこともあります。

1月には、2人の中堅保育士が熟練職に昇格し、副主任に任命されました。副主任職には、保育士への指導が正規の職務に組み込まれるので、保育相談がより深まることが期待されます。

横浜市福祉サービス第三者評価（保育分野）

評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類・評価項目	評価結果	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と保育計画の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として 文化的生活が営まれるよう その自立に向けた支援に努める」を社会福祉法人神奈川県匡済会の基本理念として掲げ、それに続く保育理念、保育方針、保育目標および保育の姿勢が一貫性を持ち、分かりやすい表現になっています。保護者や職員が目にするところに理念や方針を掲示しており周知に努めるとともに、人権研修で園目標について検討し保育に生かせるよう理解を深めています。また理念や方針を記したカードを所持し、職員会議において読み合わせをし、再確認する機会を設けています。年度末の会議では保育方針について討議し、共通理解を深め、会議等に出られない人にも報告会を持ち方針が伝わるよう努力しています。 ・保育課程は家庭の状況・地域の状況・周囲の環境などを考慮し、各クラスで話し合いミーティングを重ね、職員会議等で検討し作成しています。保育課程は入園時や年度当初及び改定時には必ず保護者に説明しています。食育については栄養士・調理士・保育士で話し合い、計画・立案・実行しています。自然豊かな公園に行ったり、保育園の畑で野菜を栽培・収穫する等環境にも配慮して作成しています。小学校運動会や町内会のお祭りなどの行事には積極的に参加し、七夕の会は地域の方と一緒に楽しめるよう地域にも配慮しています。豆まき・ひな祭り等の日本の伝統行事も積極的に取り入れています。毎月カリキュラム会議で保育について話し合っています。会議に参加できない人にも伝わるよう努力しています。 ・個々の発達に配慮した指導計画を作成しています。担任以外の職員からの、気づきも出し合いながら実践を高める努力をしています。年間指導計画や月間指導計画、週案、個別指導計画は子どもが自主的に活動できるような内容を取り入れて作成しています。クラスで毎月子どもの様子を話し、職員で確認し合っています。また、遊びや食事・おやつなどの生活において、子どもの言葉にじっくり耳を傾け聞こうとする姿勢が感じられ、言葉で表現できない乳児には表現やしぐさから子どもの意思を汲み取ろうとしています。
I-1-1(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したもの	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や職員が目にするところに理念や方針を掲示しており周知に努めています。

<p>になっており、全職員が基本方針を理解し、実践しているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修で園目標について検討し保育に生かせるよう理解を深めています。 ・理念や方針を記したカードを所持し、職員会議において読み合わせをし、再確認する機会を設けています。 ・年度末の会議では保育方針について討議し、共通理解を深めている。 ・会議等に出られない人にも方針が伝わるよう努力してます。
<p>I-1-1(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程は、各クラスで話し合い作成しミーティングを重ね、職員会議等で検討・決定をしています。 ・毎月カリキュラム会議で保育について話し合っている。会議に参加できない人にも伝わるよう努力しています。 ・食育については、栄養士・調理士・保育士で話し合い、計画・立案・実行しています。 ・小学校運動会や町内会お祭りなどの行事には積極的に参加しています。 ・園行事等では音などに配慮し事前に近隣にあいさつに出向いています。 ・自然豊かな公園に行ったり、保育園の畑で野菜を栽培・収穫したりしている。七夕の会は地域の方と一緒に楽しめるよう計画している。また豆まき・ひな祭り等の日本の伝統行事を積極的に取り入れています。 ・保育課程は入園時や年度当初及び改定時には必ず保護者に説明しています。
<p>I-1-1(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで毎月子どもの様子を話し、職員で確認し合っています。 ・個々の発達に配慮した指導計画を作成しています。 ・担任以外の職員からの気づきも出し合いながら実践を高める努力をしています。

<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会時、保育士による面談を実施しています。また保護者面談だけでなく、児童にも来園してもらい遊びの様子を観察しています。これらの様子を職員間で報告し合い共有しています。保育参観、保育参加などの後、または随時必要なときに面談を実施しています。 ・面談内容や家庭からの提出書類により、子どもの様子・生育歴や家庭状況を職員へ伝達、共有し、日々の保育に活かされています。 ・進級当初は在園児と新入園児を分けて生活し、双方に配慮し関わられるようにしています。入園当初は子どもが心理的に拠り所になっているおもちゃや人形の受入にも柔軟に対応しています。子どもの様子を見ながら切り替えるタイミングをつくる働きかけもして
----------------------------------	----------	--

		<p>います。子どもの様子や保護者の都合に合わせて短縮保育を行っています。保護者が消極的な際には、幼児が新しい環境に適応するためには一定期間の短縮保育が必要であることを丁寧に説明し理解を得るようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス内で振り返り、作成する時間を設けています。月案をクラスに掲示し保護者にも周知しています。 ・日々の、保護者との会話の中から声を拾って子どもへの配慮、援助法を取り入れています。保護者の要望や意見を反映できるよう「意見箱」を設置しています。年度末に保護者アンケートを行い、要望や意見などを取り入れています。
I-2-1(1)入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会時、保育士による面談を実施している。また、児童にも来園してもらい遊びの様子を観察しています。 ・これらの様子を職員間で報告し合い共有しています。 ・保育参観、保育参加などの後、または随時必要なときに面談を実施しています。 ・面談内容、子どもの様子を職員へ伝達、共有しています。
I-2-2(2)新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進級当初は在園児、新入園児を分けて生活したりし双方に配慮し関わられるようにしています。 ・安心できる物の持ち込みは柔軟に対応する方針です。 ・子どもの様子や保護者の都合に合わせて短縮保育を行っています。保護者が消極的な際には、幼い子が新しい環境に適応するためには必要であることを丁寧に説明し理解を得るようにしています。
I-2-3(3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内で振り返り、作成する時間を設けています。 ・月案をクラスに掲示し保護者にも周知しています。 ・日々の、保護者との会話の中から声を拾って子どもへの配慮、援助法を取り入れています。 ・保護者の要望や意見を反映できるよう「意見箱」を設置しています。

I-3 快適な施設環境の確保	A	<ul style="list-style-type: none"> ・移管の直前に発生した「3.11 東日本大震災」での教訓を生かし、園児の安全と保育の向上を目指して園舎の建て替えに取り組み、完成した新園舎は築4年の壁式鉄筋コンクリート造り2階建てで、園舎の中は広い空間を持ち、明るく、のびのび過ごせるように工夫されています。保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれ、施設内の温度、湿度は毎日日誌に記入して管理しています。空気清浄機、加湿器の設置、道路や擁壁の清掃など、衛生面、環境面においては全職員で取り組んでいます。園庭や園舎内に花や緑の植物を置き、また自然物を使った制作などし、感性を育てるよう
----------------	---	---

		<p>にしています。室内外共に、声のトーン、ボリュームに配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に関係なく温水シャワーを使うことができます。排尿失敗の際には必ずシャワーを浴びて清潔を保っています。暑い時期は汗流しのシャワーを行っています。掃除チェック表などを使い毎日清掃し、清潔を保っています。 ・幼児では小集団保育が行われており、0歳児では保育室を牛乳パックを再利用したブロックで仕切り、一方では保育士の先生とおもちゃ遊びをし、片方では、園児がそれぞれおもちゃの自動車遊びをしたり、ままごと遊びを楽しんでいます。1歳児は保育室にいるグループと隣接するホールでおもちゃ遊びを楽しんでいます。子どもにとって「居心地の良い場」になるよう工夫がされています。 ・各保育室は食事をするテーブルと遊びや午睡する別の空間を持っており、食事・歯磨きのあと午睡用コートを並べて午睡の準備にかかっています。部屋にはおもちゃ棚や着替えなど入れる棚をうまく配列して午睡用コートを配列できるように工夫しています。朝・夕の時間や園庭での自由遊びなどは異年齢交流の場となっています。1歳児がホールでブロックの自動車やロボット遊びをしているときに、年長さんが来て一緒に遊んでいます。園児は保育室に関わらず、ホール、絵本コーナー、テラス、踊り場など色々活用して異年齢交流を行っています。
<p>I-3-(1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれています。 ・室内外共に、声のトーン、ボリュームに留意しています。 ・温度、湿度は毎日日誌に記入して管理しています。 ・空気清浄機、加湿器の設置。道路や擁壁の清掃など、衛生面、環境面においては全職員で取り組んでいます。 ・園庭や園舎内に花や緑の植物を置いたり、また自然物を使った制作などし、感性を育てるようにしています。
<p>I-3-(2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に関係なくシャワーが出来るようになっています。 ・排尿失敗の際には必ずシャワーをして清潔を保っています。 ・暑い時期は汗流しのシャワーを行っています。 ・掃除チェック表などを使い毎日清掃し、清潔を保っています。

	I-3-(3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、夕で異年齢で関われるスペースがあります。 ・保育室に関わらず、ホール、絵本コーナー、テラス、踊り場など色々活用して過ごしています。 ・朝・夕の時間や園庭での自由遊びなどは異年齢交流の機会となっています。
--	-------------------------------	---	--

	I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画を基本としつつも、子ども一人ひとりの状況に応じ対応を変えています。その際には、クラス内で日々話し合い、ミーティングで全職員に周知し、全職員が同じ対応が出来るようにすると共に、一人ひとりの状況に柔軟に対応できるようにしています。また、担任以外の職員の気づきも会議で出し合い、実践を高めています。乳児については個別に配慮や成長について記録し、個別指導計画に反映すると共に、集団での育ちも視野に入れ計画しています。幼児クラスでは個別指導計画を作成しなくとも一時的に課題がある場合には、月カリキュラムの個別配慮欄を活用し、課題や必要な配慮を記載し周知しています。個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ています。 ・毎日の伝達は口頭でしており、そのノートは職員誰もが閲覧できます。成長記録を細かく記入して、次年度の担任、小学校へ伝達出来るようにしています。保育の時間帯による引継ぎでは、ノートを作り保育の様子・怪我等特記事項を記載し、職員同士の引継ぎで行っています。
	I-4-(1)子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内で日々話し合い、柔軟に対応しています。また、担任以外の職員の気づきも会議で出し合い、実践を高めています。 ・乳児は個別に配慮や成長について記録し日々の保育に生かしています。 ・個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ています。
	I-4-(2) 子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の伝達は口頭でしており、そのノートは誰もが閲覧できます。 ・成長記録を細かく記入して、次年度の担任、小学校へ伝達出来るようにしています。 ・保育の時間帯による引継ぎでは、ノートを作り保育の様子・怪我等特記事項を記載し、職員同士の引継ぎで行っています。

I—5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取組み

A

- ・特に配慮を要する子どもの受け入れについては、月に一度カリキュラム会議で必要な情報を共有しています。会議に出られなかった職員には翌日のミーティングで伝え、情報漏れのないように努めています。特に配慮を要する園児については具体的な事例をあげ、全職員間で学習し次の保育につなげています。担任以外の職員からの気づきも出し合い、配慮点やかかわり方が適切かどうか話し合っています。共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされています。
- ・障害児保育については、月一度のカリキュラム会議で個別指導している子について状況を報告し方針や状況について全体で共有できるよう努力しています。横浜市総合リハビリテーションセンターの巡回相談を利用しアドバイスを受け、それを生かして個々の指導に当たっています。
また積極的に研修に参加し、学んだことを報告し、全体で共有しています。園舎建て替え時よりバリアフリーを意識した園舎構造となっており、玄関から保育室までフラットな床面やエレベーターの設置があり、また玄関前に車の駐車スペースを確保しています。
- ・子育てについて支援が必要な保護者の要望に柔軟に対応しています。また、区役所、保健師と情報を共有しながら支援を行っています。
- ・健康観察は毎日、しっかり行き怪我などは写真に残しています。
- ・毎日、保護者の送迎時に顔を合わせて挨拶し、言葉がけしたりコミュニケーションをとるように努力しています。
- ・アレルギー疾患のある子どもへの対応については、月に一回、調理師又は栄養士、担任と保護者（3者）で次月の給食について献立面談を行っています。毎日のミーティングで除去メニューを確認し、当日も配膳時調理室と保育室にて声出し確認と復唱をしています。当園では数名の食物アレルギー園児がおり、除去食については、園児名・除去食材を記したトレイや名札を毎回使用し間違いのないよう心掛けています。
- ・外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対しては、当園には該当する園児はいませんが、外国籍児童の多い他園（姉妹園）の状況等について情報が入ると職場で共有しています。園児には絵本や教材を利用し色々な文化があることを伝えていきます。

I-5-(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度カリキュラム会議をして共有しています。 ・会議に出られなかった職員にも伝わるよう翌日の「伝え」等に努力しています。 ・特に関わり方が難しい子どもについて具体的な事例をあげ、全職員間で学習し次の保育につなげています。 ・担任以外の職員からの気づきも出し合い、配慮点やかかわり方が適切かどうか話し合っています。
I-5-(2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度カリキュラム会議で個別指導している子についての報告があり、方針や状況について全体で共有できるよう努力しています。 ・横浜市リハビリセンターの巡回相談を利用しアドバイスを受け、それを生かして個々の指導に当たっています。 ・積極的に研修に参加し、学んだことを報告し、全体で共有しています。 ・園舎建て替え時よりバリアフリーを意識した園舎構造となっており、玄関から保育室までフラットな床面やエレベーター設置あり。また、玄関前に車の駐車スペースの確保をしています。
I-5-(3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な保護者の要望に柔軟に対応している。区役所、保健師と情報を取りあい支援を行っています。 ・毎日、健康観察はしっかり行い、怪我などは写真に残し、毎日、保護者とは顔を合わせて挨拶し、言葉がけしコミュニケーションをとるように努力しています。
I-5-(4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一回、調理師又は栄養士、担任と保護者（3者）で次月の給食について献立面談を行っています。 ・毎日のミーティングで除去メニューの確認をし、当日も配膳時調理室と保育室にて声出し確認と復唱をしています。 ・当園では数名の食物アレルギー園児がおり、除去食については、園児名・除去食材を記したトレイや名札を毎回使用し間違いのないようにしています。
I-5-(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、当園には表記にあてはまる園児がいないが、外国籍児童の多い他園（姉妹園）の状況等について情報が入ると職場で共有しています。

I-6 苦情解決体制	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会で第三者委員の存在をお知らせしており、苦情解決の体制については園内の分かりやすい場所に掲示してあります。第三者委員の方に園行事等に参加していただき、ご紹介して保護者
------------	---	--

		<p>に周知しています。第三者委員の方とは、日頃から連絡を取り合い、情報交換に努めています。</p> <p>第三者委員の方に毎月の園だよりをお届けし園内の状況等を理解していただけるようにしています。保育士体験、保育参観等で意見、苦情など聞く姿勢があります。直接、意見や要望が出された際は、公表の有無を確認したうえで話し合う等解決に向けて努力しています。市の健康福祉局相談調整課も苦情解決窓口として紹介しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対応する体制や対応フローが出来ており、ご意見や苦情があれば対応フローに従って、ミーティングや会議で報告し全体の共有に努めています。要望があると苦情解決責任者である園長が中心となり該当の方と話し合う等対応しています。保護者から園への相談・意見など確実に保護者にフィードバックしています。
I-6-(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会で第三者委員の存在をお知らせしており、園内の分かりやすい場所に掲示してあります。 ・第三者委員の方に園行事等に参加していただき、ご紹介して保護者に周知しています。 ・第三者委員の方に毎月の園だよりをお届けし園内の状況等を理解していただけるようにしています。 ・保育士体験、保育参観等で意見、苦情など聞く姿勢があります。 ・直接、ご意見ご要望が出された際は、公表の有無を確認したうえで話し合う等解決に向けて努力しています。 ・市の健康福祉局相談調整課も苦情解決窓口として紹介しています。
I-6-(2)要望や苦情を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対応する体制は出来ており、ご意見や苦情があればミーティングや会議で報告し全体の共有に努めています。 ・要望があると苦情解決責任者である園長が中心となり該当の方と話し合う等対応しています。 ・第三者委員の方とは、日頃から連絡を取り合い、情報交換に努めています。 ・保護者から園への相談・意見など確実に保護者にフィードバックしています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

II-1 保育内容	A	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室内は、それぞれの年齢に合った玩具等の配置になっており、
-----------	---	---

その時々の子どもたちの状況に合わせて玩具の配置を置き換えています。また少人数、小スペースでのコーナー遊びができるようにしています。園庭では遊びに応じてゴザや小テーブルを出し雰囲気を楽しむようにしています。玩具の一つとして、散歩で採取したドングリや畑で取れた芋を使うことで雰囲気が和んでいます。子どもたちのはじめた遊びが発展し熱中している時は、遊びを中断しないで臨機応変に活動内容を変更したり、子どもの自主性を尊重しています。

- ・制作に関しては保育士に対し少人数の園児や1対1で進め、子どもが理解し楽しめるようにしています。それぞれの子どもが好きな遊びができるようにコーナーを作ったりして環境に配慮しています。子どもたちが好む絵本からごっこ遊びや劇遊びに発展させ、また、それに必要な物を作る造形活動へとつなげています。またこどもが捕まえた虫を観察することから飼育活動に発展させています。

- ・子どもたちが栽培したものを調理して給食に出してもらい、食に興味を持つきっかけを作っています。夏野菜、米の栽培、蟬やメダカ、オタマジャクシ、バッタなどを飼育、観察し、子どもの興味のあることをとりあげることで子どもの意向を大切にしています。

散歩に出かけることで地域を知り、それを「お散歩マップ」にまとめて保護者にも周知しています。当園の建替えて協力をいただいた近隣の方に行事のお知らせや冬のプレゼント(さつま芋のつるでつくったリース)を園児がお届けし触れ合う機会を設けています。年長児のお泊り保育では、園児が近くの商店街に食材を買いに行きます。お店の方とのやり取りを通して「買物は楽しい」という子どもの声から、定例行事の「おみせやさんごっこ」に発展しています。

- ・お絵描帳は自分で取り出して画けるよう棚を配置しており、表現活動を自由に楽しんでいます。年齢にあわせて、クレヨン・のり・はさみ・セロテープ・マジック・等自由につかえるように配慮しています。子どもたちが自然に楽しめるようなリズム遊びに取り組んでいます。広告の裏紙を利用したり、牛乳パックを利用して衝立をつくったり、トイレトペーパーの芯でお獅子をつくったり廃材を有効に利用しています。

- ・保育士はこども同士のかかわりの様子を常に見守る姿勢で対応しています。年齢によりこども同士のかかわりに援助が必要であれば

ば、代弁し方法をさりげなく伝えています。散歩に一緒に行ったり、朝・夕の時間には一緒に遊んだりして日頃から異年齢での交流を深めています。幼児クラスでは年間を通して異年齢とのかかわりを持つ年間計画があります。異年齢の時間の過ごし方は、保育士が適切に援助し寄り添って徐々になじんでいけるよう配慮しています。

異年齢の子どもたちがくっつきあって共に成長できるように異年齢交流を「なかよしぶどう」と称し集団の中で生活習慣を身につけています。夏の期間は幼児を2つの縦割りグループに分け日常生活の中で異年齢保育を実践しています。運動会、お楽しみ会、おみせやさんごっこ、手つなぎ散歩等定期的に多くの交流の場を設けています。

異年齢の交流により年長児はお兄さんとしての関わりやお手本を示すことを自覚し、年少児は年長児をまね、憧れの存在として認め、お互いに良い関係を築きながら、共に育ちあう保育を実践しています。他方保育士にとっても交流を通して他クラスの子どもを理解する良い機会であり保育士どうしで情報の共有ができています。

- ・紫外線除けの帽子を着用、夏場は園庭に遮光ネットを活用して紫外線除けをしています。治療等配慮が必要な園児には、バンダナをまいたり、カーテンを閉めたりして紫外線対策に努めています。運動能力を、年齢に合わせて高められるよう公園の遊具なども活用しています。

園庭で三輪車やボール遊びなど十分に楽しめるよう、使い方や時間帯などクラス間の連携を密にしています。毎日、安全確認し、園庭で裸足でも遊べるようにしています。

また、園庭が狭いことから散歩マップのリストを10種類用意し充実しています。

[生活]

- ・授乳に関しては、連絡帳に記載されている家での授乳時間などを考慮し適切な時間帯に与えています。苦手な食材や食べきれない量は事前に減らすなど個別対応をし「食べきった」という達成感を得られるよう配慮しています。調理室はガラス張りです調理の様子がよく見えます。調理の様子や食材の臭いを感じることで食育につなげています。また枝豆とりやトウモロコシの皮むきなどクッキングのお手伝い等により食に対する興味を深めるようにしています。こどもが栽培した野菜を調理してもらったり、また自分たちで調理する機会や親子クッキングの機会を保育に取り入れています。4、5歳児クラスでは「バイキング」を取り入れ、より食が進むように工夫しています。「バイキング」は自分が食べきれ

る量を盛りつける良い機会にもなっています。

- ・担任と調理師・栄養士が日々話し合いをしているので、行事食や旬の食材を多く取り入れた充実した献立作りになっています。年齢ごとに食器の質や大きさなどを変え、スプーンやフォークなど食事に合った器や食具を提供しています。配膳の際、担当保育士とお当番の子は専用の衣服・三角巾などを身に着けています。食器は、磁器のものを中心に使い、プラスチック製品は3年を目安に更新しています。毎月、給食だよりを発行し食材やメニューに関する情報を積極的に発信しています。

- ・調理師、栄養士が各クラスを回り子どもたちに本日の献立の食材について説明し食育につなげています。喫食状況をベースに子どもの声や保育士の意見を取り入れながら献立を作成にしています。子どもに不人気の野菜を食べやすい方法で調理して提供しています（人参ジャム、青菜ケーキ、人参寒天など）毎日のミーティングで喫食状況や気づきを伝えあっています。

- ・レシピは保護者にも配布しています。栄養士が子ども向けに食育情報を発信する「ぱくぱく便り」を保育室に掲示しています。また給食だよりを毎月発行しています。保育士体験、保育参加、懇談会にて保護者の方に試食して頂いています。当日提供の給食のサンプルを毎日掲示しています。離乳食の進み具合については保護者に適切な情報を提供し助言をしています。クッキングや給食の様子を写真に撮りファイリングし、「食育コーナー」に掲示し保護者に伝わるようにしています。調理室の食育ボードには年長児の親子クッキングで「おにぎらず」をつくった写真が掲載されています。

- ・当園では午睡にコット(子ども用キャリーベッド)を使用しているのが特徴です。パーテーションを活用し落ち着いて眠れるようにしています。1歳6ヶ月まで5分間隔でプレスチェックを実施しその後も定期的に見守っています。安心して眠れるように身体をさすり言葉かけをし子守歌を歌っています。子どもが安心して眠れるように、そばについて背中をさすったりして眠れる環境をつくっています。眠れない子どもには眠れなくても休息の時間として身体を休めるようそばについて様子を見ています。

- ・トイレトレーニングは個人差があることに配慮し保護者と密に連携を取り個々に対応しています。4, 5歳児用のトイレのパーテーションにはすべて扉がついています。シャワーは廊下から

		見えにくい位置に設置しプライバシーに配慮しています。幼児クラスは自分で行きたい時にトイレに行けるよう保育室の扉は開けやすくしています。
<p>[遊び]</p> <p>Ⅱ-1-(1)子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・その時々の子どもの様子に合わせておもちゃの配置を置き換えています。 ・少人数、小スペースのコーナー遊びができるようにしています。 ・保育室内は、それぞれの年齢に合った玩具や配置になっています。 ・園庭では遊びに応じてゴザや小テーブルを出し雰囲気を楽しむようにしています。 ・玩具の一つとして、散歩で採取したドングリや畑で取れた芋を使う事で雰囲気が和んでいます。
<p>Ⅱ-1-(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・製作時は保育士に対し少人数の園児や1対1で進め、子どもが理解し楽しめるようにしています。 ・それぞれの子どもが好きな遊びができるようにコーナーを作ったりして環境に配慮しています。 ・子ども達が好む絵本からごっこ遊びや劇遊びに発展させ、また、それに必要な物を作る造形活動へと繋げています。 ・子どもが捕まえた虫を観察することから飼育活動に発展させています。
<p>Ⅱ-1-(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが栽培したものを調理して給食に出してもらい、食に興味を持つきっかけを作っています。 ・夏野菜、米の栽培、蟬やメダカ、オタマジャクシ、バッタなどの飼育、観察をし子どもの興味のあることをとりあげて大切にしています。 ・散歩に出かけることで地域を知り「お散歩マップ」にまとめて保護者にも周知しています。 ・近隣の方に行事のお知らせや冬のプレゼントを園児がお届けし、触れ合う機会がある。 ・地域の商店街に行き、園児が行事の際の買い物をしています。お店の方とやり取りし、それらが行事「おみせやさんごっこ」に繋がっています。
<p>Ⅱ-1-(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・お絵描帳は自由に出してかけるようになっており、表現活動を自由に楽しんでいます。 ・年齢にあわせて、クレヨン・のり・はさみ・セロテープ・マジック・等自由につかえるように配慮しています。 ・子どもたちが自然に楽しめるようなリズム遊びに取り組んでいます。

<p>Ⅱ－１－(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のかかわりの様子は見守る姿勢を常に持っています。 ・年齢により子ども同士のかかわりに援助が必要であれば、代弁したり、方法をさりげなく伝えています。 ・散歩に一緒に行ったり朝・夕の時間に一緒に遊んだりして異年齢で交流を深めています。 ・幼児クラスでは年間を通して異年齢とのかかわりを持つ年間計画があります。異年齢の時間の過ごし方は、保育士が適切に援助し寄り添って徐々になじんでいけるよう配慮しています。
<p>Ⅱ－１－(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紫外線除け付きの帽子を着用、夏場は園庭に遮光ネットを活用して紫外線除けをしています。 ・治療等配慮を要する園児には、バンダナをまいたり、カーテンを閉めたりして紫外線対策に努めています。 ・運動能力を、年齢に合わせて高められるよう公園の遊具なども活用しています。 ・園庭で三輪車やボール遊びなど十分に楽しめるよう、使い方や時間帯などクラス間の連携を密にしています。 ・毎日、安全確認をし、園庭で裸足でも遊べるようにしています。
<p>[生活] Ⅱ－１－(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳に関しては、連絡帳で家での授乳時間など考慮し適切な時間帯に与えています。 ・苦手な食材や食べきれない量は事前に減らすなど個別の対応をし「食べきった」という達成感を得られるよう配慮しています。 ・調理室の様子が見えるので、調理の様子や食材のにおいなど感じ、日頃から食育に繋がっています。 ・枝豆とりやトウモロコシの皮むきなどクッキングの手伝いなどをして食に対して興味を深めるようにしています。 ・子どもが栽培した野菜を調理してもらったり、また、自分たちで調理する機会や親子クッキングの機会を設け、保育に取り入れています。 ・4、5歳児クラスでは「パイキング」を取り入れ、自分が食べきれない量を盛り付けて食べる機会も設けています。

<p>Ⅱ-1-(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食の充実、旬の食材を多く取り入れた献立作りになっています。 ・年齢ごとに食器の質や大きさなどを変え、スプーンやフォークなど食事に合った器や食具を提供しています。 ・担任と調理師と日々話し合いをしています。 ・配膳の際、担当保育士とお当番の子は専用の衣服・三角巾などを身に着けています。 ・食器は、磁器のものを中心に使い、プラスチック製品は3年を目安に更新しています。 ・毎月、給食だよりを発行し食材やメニューに関する情報を積極的に発信しています。
<p>Ⅱ-1-(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理師、栄養士が各クラスを回り、食材についてこども達に話をしてくれたり、喫食状況をみて献立の参考にしています。 ・子どもに不人気の野菜を食べやすい方法で調理して提供しています(人参ジャム、青菜ケーキ、人参寒天など) ・毎日のミーティングで喫食状況や気づきを伝えあっています。
<p>Ⅱ-1-(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レシピの配布。ぱくぱく便り(こども向けお便りの掲示)給食だよりを毎月発行。 ・保育士体験、保育参加、懇談会にて保護者の方に試食して頂いています。 ・当日提供の給食サンプルを毎日掲示しています。 ・離乳食の進み具合により保護者へ適切に情報や助言をしています。 ・クッキングや給食の様子を写真に撮りファイリングし、「食育コーナー」に置き保護者に伝わるようにしています。
<p>Ⅱ-1-(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションを活用し落ち着いて眠れるようにしています。 ・1歳6ヶ月まで5分間隔でプレスチェックを実施しその後も定期的に見守っています。
<p>Ⅱ-1-(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニングは個人差があることに配慮し保護者と密に連携を取り個々に対応しています。 ・4, 5歳児用のトイレのブースには、すべて扉がついています。 ・シャワーは廊下から見えにくい位置に設置しています。 ・幼児クラスは自分で行きたい時にトイレに行けるよう保育室の扉は開けやすくしています。

<p>Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理</p>	<p>A</p>	<p>【健康管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の連絡帳や検温表を活用しています。毎朝体調について保護者から様子を聞いて、何かあった場合は迅速に連絡し
---------------------------	----------	--

て対応にあたっています。園児一人一人の健康に関する情報やかかりつけ医師の緊急連絡先を記した「家庭連絡票」「健康台帳」を備えています。

洗面所の前に手洗いの絵を貼り、こどもが実行しやすい雰囲気づくりをしています。食物と体の関係がわかるような絵本や紙芝居を読み日頃から健康管理に気をつけています。

- ・健康診断前に気になることを保護者に事前に聞き取りをしています。子ども一人一人の診断結果を健康台帳に記録し、保護者に連絡することで改善に向けて対応していただいています。歯科健診の結果は歯科健康診断結果のお知らせにて保護者に知らせています。
- ・感染症があった場合、症状や対処法、登園について掲示し拡散しないように意識を高めています。「保健だより」を毎月発行し、その時々健康面での留意や病気に関する情報を提供しています。嘱託医と連携し、地域で感染症の流行が見られた時は、速やかに情報を提供していただき保護者に周知徹底するよう努めています。

[衛生管理]

- ・衛生管理マニュアルは年度ごとに見直しをしています。マニュアルにもとづき清掃が行われ、毎日衛生状態の確認を行っています。年に一度、嘔吐物処理の確認をしています。職員の手指からの感染を防ぐため汚物処理の際は手袋を使用し、手拭きもペーパータオルを使用しています。各保育室に手指消毒のための薬剤を備え、と共に定期的に害虫駆除をしています。

[安全管理]

- ・安心伝言板を活用し毎月の避難訓練の状況を保護者に発信しています。月に一回色々な事例を想定した訓練を実施しています。近隣消防署と連携した訓練も実施し、消防車等に親しむことで危機管理意識を育てています。救命救急法の研修に積極的に取り組んでいます。AEDを園内に設置し緊急時にも対応できるようにしています。
- ・怪我等が起きた際は、ミーティング等で全職員に知らせ再発防止に努め、原因場所などを確認し迅速に改善するよう努力しています。怪我等の際、通院する医療機関のリストと通院バッグを事務所のわかりやすいところに置いています。災害発生時には安心安全伝言板を活用した保護者向け連絡システムを活用しています。

		<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応訓練を実施しています。警察関係者による不審者対応策の講習を受け意識を高めています。横浜市港北区港北 AAA の FAX を活用しています。日中は機械警備で管理しています。また、防犯カメラを作動させ不審者侵入には細心の注意を払っています。事務所には必ず職員が在席し、不審者は玄関から中には入れないよう努力をしています。また午睡時には窓や外の出入り口を施錠し安全管理に努めています。
<p>[健康管理]</p> <p>Ⅱ－２－(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の連絡帳や検温表を利用しています。 ・毎朝体調について保護者から様子を聞いて、何かあった場合は迅速に連絡して対応にあたっています。 ・園児一人一人の健康に関する情報やかかりつけ医・緊急連絡先を記した「家庭連絡票」「健康台帳」を備えています。 ・洗面所の前に手洗いの絵を貼り、こどもが実行しやすい雰囲気づくりをしています。 ・食物と体の関係がわかるような絵本や紙芝居を読んで知らせています。
<p>Ⅱ－２－(2)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映させているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断前に、気になることを保護者に事前に聞き取りをしています。 ・診断結果を記録し保護者に伝え改善にむけて対応していただいています。
<p>Ⅱ－２－(3)感染症への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症があった場合、症状や対処法、登園について掲示し拡散しないように意識を高めています。 ・「保健だより」を毎月発行し、その時々健康面での留意や病気に関する情報を提供しています。 ・嘱託医と連携し、地域で感染症の流行が見られた時は、速やかに情報を提供していただき保護者に周知するようにしています。
<p>[衛生管理]</p> <p>Ⅱ－２－(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度、嘔吐物処理の確認をしています。 ・職員の手指からの感染を防ぐため、汚物処理の際は手袋を使用し、手拭きもペーパータオルを使用しています。 ・各保育室に手指消毒のための薬剤を備えています。 ・定期的に害虫駆除をしています。
<p>[安全管理]</p> <p>Ⅱ－２－(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安心伝言板の活用し毎月の避難訓練の報告を保護者に発信しています。 ・月に一回色々な事例を想定した訓練を実施しています。 ・近隣消防署と連携した訓練も実施し、消防車等に親しむことで危機管理意識を育てています。 ・救命救急法の研修に積極的に出かけ、学んでいます。 ・AED を園内に設置しています。

<p>II-2-(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我など起きた際は、ミーティング等で全職員に知らせ再発防止に努めており、原因場所など確認して必要な事は迅速に改善するよう努力しています。 ・怪我の際、通院する医療機関のリストと通院バッグを事務所のわかりやすいところに置いてある。 ・災害発生時には保護者向けに連絡ができるシステムがある（安心安全伝言板）。
<p>II-2-(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応訓練を実施しています。警察関係者による不審者対応策の講習を受け意識を高めています。 ・港北区 AAA の FAX の活用。 ・日中は機械警備で管理しています。また、防犯カメラを作動させています。 ・事務所には必ず職員がいるようにし、不審者は玄関から中には入れない努力をしています。 ・午睡時には窓や外の出入り口を施錠しています。

<p>II-3 人権の尊重</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の大切さを考え保育に生かしています。子どもの人格を尊重しながら、保育にあたることを心がけています。子どもの話をよく聞き、「急いで」「何回言ったらわかるの」等の自尊心を傷つけるような保育はしないように心がけています。子どもへの声かけは職員同士注意しあえる関係づくりを築いています。子どもに対していねいに関われるよう、自分自身の気持ちにゆとりを持ち、落ち着いて関われるようにしています。子ども同士のトラブル時には、お互いの話を聞いて対応し気持ちを受け止めています。人権研修を定期的を受講し園全体の意識向上を図っています。 ・必要な時はパーテーションで仕切っています。また相談室、ホール、絵本コーナー、テラス、踊り場などを活用しています。子どもに何か注意するときは、他の子どもに見られないよう部屋の外などでゆっくり話すようにしています。スムーズな対応ができるよう担任だけでなく他の職員も加わることでプライバシーを守っています。 ・個人情報取り扱いのマニュアルを職員に周知しています。個人情報が含まれる書類・記録などは施錠できる書庫に保管・管理しています。 情報が漏れないように、書類、日誌等は園外持ち出し禁止にしています。個人情報が含まれる「カード」「連絡帳」はマークや名前
-------------------	----------	---

		<p>を二重に確認して渡しています。送迎時保護者との対応、連絡事項は他者に聞かれないように配慮しています。</p> <p>個人情報の取り扱いに関して、実習生、職場体験者、ボランティアの方にもオリエンテーション時に確認しています。守秘義務については研修などでも学び職員全体で共有しています。</p> <p>保護者は園児の写真やビデオの撮影を行わない様に入園の際に提出いただく「家庭連絡票」の確認事項で同意を得ています。運動会やおたのしみ会、日々の活動の写真については専門業者に委託しており、「販売方法と購入方法のご案内」という掲示を通して保護者に周知しています。「販売方法と購入方法のご案内」は玄関を入った棚の上に設置し誰でも見えるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの名簿などは男女で分けることなく、名前順や月齢順で対応しており男女の区別をしないようにしています。グループ分けや遊びでは男女別にしないように努めています。自由遊びの中で男女関係なく、好きな遊びに入れるよう援助しています。
<p>Ⅱ－３－(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修の実施で人権の大切さを考え保育に生かしています。 ・「急いで」「何回言ったらわかるの」等の言葉を使ってしまうことがあるが、職員同士注意しあえる関係づくりに努力しています。
<p>Ⅱ－３－(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時はパーテーションで仕切る。また相談室、ホール、絵本コーナー、テラス、踊り場などの活用しています。 ・こどもに何か注意するときは、他児に見られない部屋の外などでゆっくり話すようにしています。 ・対応がスムーズにできるよう、担任だけでなく他の職員もカバーに回り実行できるようにする。
<p>Ⅱ－３－(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が漏れないように、書類、日誌等は園外持ち出し禁止にしています。 ・個人情報が含まれる「カード」「連絡帳」はマークや名前を二重に確認して渡しています。 ・保護者は園児の写真やビデオの撮影を行わない様お願いしています。入園の際に提出いただく「家庭連絡票」の確認事項で同意を得ています。運動会やおたのしみ会、日々の活動の写真については専門業者に委託しており、「販売方法と購入方法のご案内」という掲示を通して保護者に周知しています。

<p>Ⅱ－3－(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けられないよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの名簿などは、男女で分けることなく、名前の順だったり月齢順だったり、男女の区別はしていない。 ・グループ分けや遊びの参加で男女別にすることはしていない。
---	----------	---

<p>Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の指導計画や保育方針を保育室に掲示し周知しています。年2回のクラス懇談会で方針と保育の状況を伝えています。保護者の意見を聞くための「意見箱」を設置しています。送迎時には保護者の疑問や質問などをクラス担任からお話できるよう事前に伝言し、連携を図って対応し保護者に理解をえられるよう心掛けています。年度末に職員の自己評価を実施し、保護者に掲示して周知しています。 ・保育参観、保育士体験のあとに面談時間を設け、子どもの状況について情報を共有しています。降園時にその日にあったこどもの様子や日頃気になっていることなどを伝え家庭との連携を密にしています。クラス懇談会を年2回実施し、その中で保育中の写真や資料等も使いクラス全体の様子を伝えています。 ・相談室など活用し迅速に丁寧に相談に対応するようにしています。相談時はじっくり話ができるようドアに「使用中」のカードを下げ、プライバシーに配慮し、話が中断しないように努めています。相談の内容によっては、安易に即答せず、職員で相談して後で伝えることもあります。また、必要に応じて関係機関を紹介し保育園から機関へつなぐこともあります。 ・相談を受けた内容は速やかに面談記録を作成し、職員間で共有するとともに適切な対応がとれるようにしています。 ・その日の出来事を写真に撮り園内に掲示をし、クラスノートで一日の様子を伝えています。ホームページ・ブログで園全体の保育の様子が見ることができるようになってきました。毎月園だよりを発行し園の様子を伝えています。保育参加や保育士体験で、お子さんの園の生活を知ってもらっています。 ・参観日、行事などは年度初めに年間計画として配布し保護者が計画を立てやすいようにしています。ほぼ全員が参加していますが懇談会に参加できなかった場合は内容を後日伝え、資料も配付しています。
-----------------------	----------	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会有志によるお餅つき大会や保護者会主催のわくわく会、親子遠足があります。園の運営については保護者会と連携をとって進めています。年に数回、役員会が保育園で開催され保育園側から園長や事務員が必ず参加し交流を図っています。また、話し合いの際は、役員のこどもの一時保育も行い保護者会を支援しています。
II-4-(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の指導計画や保育方針を保育室に掲示し周知しています。 ・年2回のクラス懇談会で方針と保育の状況を伝えています。 ・保護者の意見を聞くための「意見箱」を設置しています。 ・年度末に職員の自己評価を実施し、結果を保育所評価として保護者に掲示して周知しています。
II-4-(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観、保育士体験のあとに面談時間を設け、こどもの事について共有しています。 ・降園時にその日にあったこどもの様子を伝え、日頃気になっていすことなど伝え、家庭との連携を密にしています。 ・クラス懇談会を年2回実施し、その中で資料等も使いクラス全体の様子を伝えています。
II-4-(3)保護者の相談に応じているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室など活用し迅速に丁寧に相談に対応するようにしています。また、じっくり話ができるようドアに「使用中」のカードを下げ、話が中断しないようにしています。 ・相談の内容により、関係機関を紹介したり、保育園から機関へつなげることもある。
II-4-(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・その日にあった出来事の写真の掲示をし、クラスノートで一日の様子を伝えています。 ・ホームページ・ブログで園全体の保育の様子が見られるようになっています。
II-4-(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日、行事などは年度初めに年間計画として配布し保護者が計画を立てやすいようにしている。 ・ほぼ全員が参加している。 ・懇談会に参加できなかった場合は内容を後日伝え、資料も渡している。
II-4-(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会有志のお餅つき大会。保護者会主催行事のわくわく会、親子遠足がある。保護者会と連携をとって進めています。 ・年に数回、役員会が保育園で開催され、保育園側から園長や事務員が必ず参加しています。また、役員のこどもの一時保育も行い支援しています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園が地域のお祭りに参加することによる地域住民との交流、港北区役所で開催される「わくわく子育て広場」や樽町ケアプラザで開催される「にこにこ広場」での親子との交流、園が開催する交流保育、園庭・施設開放、育児講座などにより、地域の子育てニーズを把握する取り組みを行っています。また、近隣保育園との間で、検討会・研究会などを実施しています。特に、玩具に関するテーマが多いです。園庭開放は週1回の開催で、毎回10組ぐらいの親子が参加しています。他にもプール開放を、7月～8月にかけて5日間実施し、毎回15組ぐらいの親子が参加しています。 ・交流保育は、年間5回開催しています。6月には3歳児クラスと「色水遊び」、10月には4歳児クラスと「楽器を作って遊ぼう」、11月には5歳児クラスと「バルーンで遊ぼう」、1月には1歳児クラスと「ふれあい遊び」、2月には2歳児クラスと「リズム遊び」を開催し、毎回10組ぐらいの親子が参加しています。保護者との会話やアンケートから、保育園へのニーズを把握しています。特に、おむつや離乳食に関する事のニーズの高いこと、遊びでは身体を動かすことやプールでの水遊びなどに関心があることが分かりました。「絵本の貸し出し」を実施しており、利用者数は毎月30件ぐらいあります。 ・区主催の育児講座「保育園で港北野菜をいただきます！」を園で年1回開催し、10組弱の親子が参加しています。今回は、給食室で調理したサツマイモを味わいました。 ・港北区のベビーステーション事業に登録し、授乳やオムツ交換などの場を提供、相談などにも応じています。年間で10組ぐらいの親子が利用しています。
<p>Ⅲ-1-(1)地域の子育てニーズを把握するための取組をおこなっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園が地域のお祭りに参加することによる地域住民との交流、港北区役所で開催される「わくわく子育て広場」や樽町ケアプラザで開催される「にこにこ広場」での親子との交流、園が開催する交流保育、園庭・施設開放、育児講座などにより、地域の子育てニーズを把握する取り組みを行っています。 ・近隣保育園（大曾根保育園、太尾保育園、なあな保育園、つばき駅前保育園など）との間で、検討会・研究会などを実施しています。特に、玩具に関するテーマが多いです。
<p>Ⅲ-1-(2) 地域の子育てニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援ニーズを職員会議などで話し合っています。 ・園庭開放を毎週1回、開催しています。 ・交流保育は、年間5回開催しています。6月には3歳児クラスと「色水遊び」、10月には4歳児クラスと「楽器を作って遊ぼう」、11月には5歳児クラスと「バルーンで遊ぼう」、1月には1歳児クラスと「ふれあい遊び」、2月には2歳児クラスと象に「リズム遊び」を開催し、毎回10組ぐらいの親子が参加しています。

		<ul style="list-style-type: none"> ・区主催の育児講座を毎年開催し、サツマイモを使った料理などの食育講座を実施しました。 ・港北区のベビーステーション事業に登録し、授乳やオムツ交換などの場を提供や相談などに応じています。
--	--	---

<p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人匡済会のホームページ内に園のページを設けて情報発信を、匡済会のブログ内に園のブログを設けて、イベントの様子などの情報発信をしています。園の入り口前の掲示板には、「育児相談」に係る情報を掲示し、周知しています。電話や来園での相談も随時受け付けていますが、主に園庭開放時に、相談を受けることが多いです。園庭開放時には、2名の専任相談員が対応しています。相談された内容は、相談ノートに記載し、情報を共有するようにしています。 ・「地域だより」を毎月発行し、自治会の掲示板に掲示していただいています。「地域だより」には、園児が楽しく過ごしているカラー写真、育児相談、交流保育や園庭開放の日程などを掲載して、来園を呼びかけています。必要な関係機関・地域の団体などをリスト化し、職員が情報を共有できるようにしています。関係機関との連携の担当者が決められており、スムーズな対応ができる体制になっています。港北区地域子育て支援拠点である「どろっぷ」との連携や港北区の園長会で育児情報の交換など関係機関・団体などと日常的な連携ができています。 ・横浜市総合リハビリテーションセンターによる巡回訪問（2回/年）による指導・相談、保健師や北部児童相談所との間では、必要な随時連絡がとれる体制ができています。
<p>III-2-1(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の入り口前の掲示板には、「育児相談」に係る情報を掲示し、周知しています。 ・主に園庭開放時に、相談を受けることが多い。園庭開放時には、2名の専任相談員が対応しています。相談された内容は、相談ノートに記載し、情報を共有するようにしています。 ・「地域だより」を毎月発行し、自治会の掲示板に掲示していただいています。「地域だより」には、保育の様子を載せて発信しているとともに、育児相談、交流保育や園庭開放の日程などをお知らせしています。

<p>Ⅲ－２－(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができている体制になっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な関係機関・地域の団体などをリスト化し、職員が情報を共有できるようにしています。 ・関係機関との連携の担当者が決められており、スムーズな対応ができる体制になっています。 ・港北区地域子育て支援拠点である「どろっぷ」との日常的な連携ができています。 ・横浜市総合リハビリテーションセンターや保健師と、随時連絡がとれる体制ができています。
--	----------	---

評価領域Ⅳ 開かれた運営

<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、町内会・自治会である「あけぼの会」に、賛助会員として参加し、地域住民の一員になっています。園は、七夕、スイカ割り、運動会、お楽しみ会などの年間行事に、地域住民を招待しています。年長児は、毎月１回、大曾根第二公園の公園清掃に参加し、地域の高齢者などと触れ合っています。大曾根南公園で開催される地域のお祭りには、子ども神輿が出されるので、神輿担ぎ手として、10数名の園児が参加しています。大曾根保育園、太尾保育園、なあな保育園との交流、師岡小学校、大綱小学校との交流を積極的に実施しています。中学生・高校生のボランティアを社会福祉協議会経由で受入れ、保育士体験を実施しています。 ・園庭以外にプールを、7月～8月にかけて5日間開放し、毎回15組ぐらいの親子が参加しています。港北区のベビーステーション事業に登録し、授乳やオムツ交換などの場を提供、相談などに応じています。年間で10組ぐらいの親子が利用しています。 ・運動会やお泊りでなどの行事で、お騒がせをする場合は近隣の方へご挨拶をして、ご理解を賜るようにしています。 ・地域にあるログハウスや大倉山記念館などを利用して、園児が地域の理解を深めるようにしています。 ・園の周りには、大曾根南公園、大曾根第2公園、大曾根第3公園、大倉山梅林公園など多くの公園があり、公園への散歩などで、地域の人達と積極的に交流を図っています。特に、園にお泊りするイベントでは、食材などを大曾根商店街で購入し、実際にお金を支払う体験をします。 ・大倉山公園の観梅会では、近隣保育園と合同での発表、園単独での発表など、ステージで演じています。 ・法人が経営する養護老人ホーム白寿荘を訪問し、お年寄りとの交流を深めています。近隣保育園との年長交流を、樽町しょうぶ公園でのドッジボール大会など、年3回実施しています。
------------------------------------	----------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・近隣公園でのお祭り時の子ども神輿の担ぎ手など、地域の行事や活動を保護者にお知らせし、参加できるよう配慮しています。
IV-1-(1)保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園は、町内会・自治会である「あけぼの会」に賛助会員として参加しています。 ・保育園は、七夕、スイカ割り、運動会、お楽しみ会などの年間行事に、地域住民を招待しています。 ・年長児は、毎月1回、大曾根第二公園の公園清掃に参加し、地域の方々と触れ合っています。 ・大曾根南公園で開催される地域のお祭りには、子ども神輿が出されるので、神輿担ぎ手として、園児が参加しています。 ・大曾根保育園、太尾保育園、なあな保育園との交流、師岡小学校、大綱小学校との交流を積極的に実施しています。 ・中学生・高校生のボランティアを社会福祉協議会経由で受入れ、保育士体験を実施しています。 ・プール開放を、7月～8月にかけて5日間実施しています。 ・港北区のベビーステーション事業に登録し、授乳やオムツ交換などの場を提供や相談などに応じています。 ・運動会やお泊り保育などの行事で、お騒がせをする場合は近隣の方へご挨拶をして、ご理解を賜るようにしています。
IV-1-(2)子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にあるログハウスや大倉山記念館などを利用して、園児が地域の理解を深めるようにしています。 ・園の周りには、大曾根南公園、大曾根第2公園、大曾根第3公園、大倉山梅林公園など多くの公園があり、公園への散歩などで、地域の人達と積極的に交流を図っています。 ・園にお泊りするイベントでは、食材などを大曾根商店街で購入し、実際にお金を支払う体験をします。 ・大倉山公園の観梅会では、近隣保育園と合同での発表、園単独での発表など、ステージで演じています。 ・法人が経営する養護老人ホーム白寿荘を訪問し、お年寄りとの交流を深めています。 ・近隣保育園との年長交流を、樽町しょうぶ公園でのドッジボール大会など、年3回実施しています。 ・お祭り時の子ども神輿の担ぎ手など、地域の行事や活動を保護者にお知らせし、参加できるよう配慮しています。

IV-2 サービス内容等に関する情報提供	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園のパンフレット・ホームページ、ブログなどにより、地域や関係機関に随時、情報を提供しています。サービス内容の詳細、料金、職員体制などより詳細な情報は、保育園のしおりにて提供しています。 ・「地域だより」を毎月発行し、自治会回覧板や掲示板にて保育の様子を広く発信しています。
----------------------	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっています。 ・園の入り口にある掲示板で、見学日は木曜日 15 時～と案内していますが突然、来訪された方にも、可能な範囲で対応しています。 ・見学時は保育室にも入り、丁寧に紹介しています。見学者の質問などを確認し、要望や期待をできるだけくみ取る努力をしています。
IV-2-(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園のパンフレット・ホームページ、ブログなどにより、地域や関係機関に随時、情報を提供しています。 ・サービス内容の詳細、料金、職員体制などにより詳細な情報は、保育園のしおりにて提供しています。 ・「地域だより」を毎月発行し、自治会回覧板や掲示板にて保育の様子を広く発信しています。
IV-2-(2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっています。 ・園の入り口にある掲示板で、見学日は木曜日 15 時～と案内しています。 ・突然、来訪された方にも、可能な範囲で対応しています。 ・見学時は保育室にも入り、丁寧に紹介しています。見学者の質問などを確認し、要望や期待をできるだけくみ取る努力をしています。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア用マニュアルあり、受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者に基本的考え方・方針が理解されるように説明をしています。 ・3人のボランティアの方に、絵本の「読み聞かせ」「パネルシアター」「手遊び・指あそび」などをおはなし会として、演じて頂いています。お話に対する園児の反応が良く、泣いた子もいないなど、ボランティアから褒めて頂いています。おはなし会の開催日などを、園だよりや保育室への掲示で保護者にお知らせするようにしています。 ・学生ボランティアの受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されています。園長が、受け入れ時に、ボランティアにオリエンテーションを実施し、保育の概要や留意点を伝えています。育成は、フリー保育士やクラスのリーダーが担うようにしています。終了後には話し合いをして、気付いた点や良い点などアドバイスします。 ・実習生の受け入れに際しては、受入れマニュアルに沿って、園長がオリエンテーションをします。安心して実習ができるように、保育方針や留意点を伝えます。その結果を、記録として残します。
---------------------	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には、事前に「大倉山保育園のしおり」、「重要事項説明書」などで説明し、実際に実習生受け入れの段になると、園だよりなどで説明をしています。実習生のカリキュラムは、子どもの発達過程が分かりやすいように、0歳～5歳へと順に担当するように組んでいます。 ・実習生の指導は、実習生がその日の出来事を日誌に記載、クラス担当者がその内容に対するコメントを記載、最後に振り返りの面談をする、という形で進めています。昼間の時間帯には、感想や疑問点などのやりとりをして、実習を深めるようにしています。面談では、明日の担当クラスを伝え、実習の目標を話し合い、学習目標を決めるようにしています。最終日には実習生、園長、クラスの代表職員とで振り返りを行い、感想や意見を聞いたりします。その際、将来保育士になり得るという姿勢で適切なアドバイスを心掛けています。
IV-3-(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア用マニュアルがあります。受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者に基本的考え方・方針が理解されるように説明をしています。 ・学生ボランティアの受け入れと育成の担当者が決められています。 ・ボランティア受け入れの記録が整備されています。 ・終了後には話し合いをして、気付いた点や良い点などアドバイスします。
IV-3-(2)実習生の受け入れを適切に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れに際しては、受入れマニュアルに沿って、園長がオリエンテーションをします。 ・安心して実習できるように、保育方針や留意点を伝え、その結果を、記録として残します。 ・利用者には、事前に「大倉山保育園のしおり」、「重要事項説明書」などで説明します。 ・実際、実習生を受入れる際は、園だよりなどで説明をしています。 ・実習生のカリキュラムは、子どもの発達過程が分かりやすいように、0歳～5歳へと順に担当するように組んでいます。 ・実習生の指導は、実習生がその日の出来事を日誌に記載、クラス担当者がその内容に対するコメントを記載、最後に振り返りの面談をする、という形で進めています。 ・最終日には実習生、園長、クラスの代表職員とで振り返りを行い、感想や意見を聞いたりします。その際、将来保育士になり得るという姿勢で適切なアドバイスを心掛けています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

V-1 職員の人材育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人の基本方針をもとに、年間目標を確認し、人材の補充を逐次行なうように努力してきたが、補充が難しい場合はパー
-------------	---	---

トの採用などで対応をしてきました。

- ・法人が定めた人材育成体系（経営、運営、熟練、中堅、初級）があり、それに沿って職員を育成しています。個々の職員は、前記の人材育成体系で示されたあるべき姿に向かって、学習計画を自己申告します。園長とは、計画立案時、中間での振り返り、期末における達成評価時と年 3 回面談を行います。新入職員にはプリセプター制度があり、身近な先輩職員が公私に渡り、丁寧なアドバイスをしています。保育期が 4 期に分かれており、それに合わせる形で振り返りシートがあります。新人が振り返りシートに学習目標を自己申告、結果を記入、先輩社員からの適切なアドバイスを繰り返すことで、レベルアップが図られます。先輩職員も自分のアドバイスが適切か振り返ることになるので、経験や知識が深まることとなります。
- ・園内研修は非常勤職員も含めて職員全体が参加します。研修で学んだことを、保育に取り入れるよう努力しています。例えば、人権研修、リズム研修など学んだことを園内研修で実施し、保育に活かせるように、情報共有をしています。研修計画の責任者は年度初めに任命され、研修計画を立案しています。年度初めの園長と職員との面談で、園長は個々の職員に対し、自己申告を考慮し、経験年数や役割に応じた相応しい研修を受講するようにとアドバイスをしています。
- ・法人内で、他施設同士の交流実習が積極的に行われ、セミナー担当者を中心にその意義などを確認し、毎年参加しています。2名の職員による職員交流の実施、報告書の提出がなされ、今後の保育に役立てるため、情報共有をするようにしています。
- ・「大倉山保育園アレルギー対応マニュアル」は、横浜市が策定している「保育所における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいて定めています。アレルギー研修などの園外研修に参加し、新たな要素を加え、随時改版するようにしています。
- ・園内・園外研修後、振り返りをし、職員会議などで、研修の見直しをしています。非常勤職員にも業務マニュアルが配布され、常に見られる状態になっています。非常勤職員はクラス担任などとペアで活動し、常にコミュニケーションをとりながら、保育に取り組んでいます。園児の様子や保育の計画、保護者との関りなどについては日常的に報告をし合い、お互い実践に生かすように努力しています。非常勤職員も昼のミーティングや職員会議などに参加して報告・伝達を行い、必要な記録はいつでも見られるようになっています。クラス担任がカリキュラムをたてる場合は、非常勤職員も参加して、保育の課題などを一緒に討議することで、非常勤職員の資質向上を図っています。

<p>V-1-(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人の基本方針をもとに、年間目標を確認し、人材の補充を逐次行なうように努力してきました。 ・法人が定めた人材育成体系（経営、運営、熟練、中堅、初級）があり、それに沿って職員を育成しています。 ・個々の職員は、前記の人材育成体系で示されたあるべき姿に向かって、学習計画を自己申告します。 ・園長とは、計画立案時、中間での振り返り、期末における達成評価時と年3回面談を行います。 ・新入職員にはプリセプター制度があり、身近な先輩職員が公私に渡り、丁寧なアドバイスをしています。
<p>V-1-(2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修は非常勤職員も含めて職員全体が参加します。 ・研修で学んだことを、保育に取り入れるよう努力しています。例えば、人権研修、リズム研修など学んだことを園内研修で実施し、保育に活かせるように、情報共有をしています。 ・年度初めの園長と職員との面談で、園長は個々の職員に対し、自己申告を考慮し、経験年数や役割に応じた相応しい研修を受講するようにとアドバイスをしています。 ・法人内で、他施設同士の交流実習が積極的に行われ、セミナー担当者を中心にその意義などを確認し、毎年参加しています。 ・職員から職員交流の実施、報告書の提出がなされ、今後の保育に役立てるため、情報共有をするようにしています。 ・園内・園外研修後、振り返りをし、職員会議などで、研修の見直しをしています。
<p>V-1-(3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員にも業務マニュアルが配布され、常に見られる状態になっています。 ・非常勤職員はクラス担任などとペアで活動し、常にコミュニケーションをとりながら、保育に取り組んでいます。 ・園児の様子や保育の計画、保護者との関りなどについては日常的に報告をし合い、お互い実践に生かすように努力しています。 ・非常勤職員も昼のミーティングや職員会議などに参加して報告・伝達を行い、必要な記録はいつでも見られるようになっています。 ・クラス担任がカリキュラムをたてる場合は、非常勤職員も参加して、保育の課題などを一緒に討議することで、非常勤職員の資質向上を図っています。

<p>V-2 職員の技術の向上</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の自己評価を計画的に実施する仕組が定められています。年度初め、園長と面談して自己申告票に目標を記載します。年度の途中、園長と面談して目標の達成状況を振り返り、自己申告票に記載します。年度末には、園長と面談して、取り組んできたことの確認や評価、課題などを話し合い、次年度の自己申告につながるようにします。保育所の評価は、個々の職員が自己評価をし、そ
---------------------	----------	--

		<p>の平均値をとるという独自方式でなされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム会議において、日常の保育の事例研究に取り組み、保育に活かせるようにしています。さらに、法人内で他の園における実地研修を実施し、お互いの優れた技術を学ぶようにしています。例えば、オムツの持ち帰りの良い点と悪い点を討議した結果、4月からオムツの持ち帰りを不要にすると結論付けました。 ・横浜市総合リハビリテーションセンターによる巡回訪問（2回/年）による指導・相談、港北区が派遣する専門家（看護師、保健師、栄養士など）や北部児童相談所との間では、必要な随時指導を受ける仕組みができています。 ・保育士等一人一人が、自己評価し、それを文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。 ・保育士は、毎日、日誌に振り返りを記入して、改善点や反省点を自ら顧みることができます。年度末には、法人共通の自己評価チェックリストを用いて自己評価を行い、自己の実践の改善やその後の計画作成に反映させています。 ・自己評価が、計画で意図した保育のねらいと関連付けて行われているか、子どもの育ちや意欲や取り組む過程などを重視しているかを、職員会議やカリキュラム会議などで確認しています。 ・自己評価の振り返りを担任同士で話し合い、お互いの振り返りを共有するようにしています。振り返りをクラス単位で確認し、さらに園長がその内容を確認しています。 ・保育士等の自己評価の結果から、保育所としての課題が明らかになり、優先順位を付けて、課題の改善に取り組んでいます。 ・保育所としての自己評価が、保育所の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われているかを、毎月開催される職員会議やカリキュラム会議の場で確認しています。 ・保育所としての自己評価（管理職による自己点検・自己評価）を、ホームページ上で公表しています。他園の第三者評価などをPC上で閲覧し、参考にすることで、自園の向上につなげています。
<p>V-2-(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の自己評価を計画的に実施する仕組が定められています。 ・年度初め、園長と面談して自己申告票に目標を記載します。年度の途中、園長と面談して目標の達成状況を振り返り、自己申告票に記載します。年度末には、園長と面談して、取り組んできたことの確認や評価、課題などを話し合い、次年度の自己申告につながるようにします。 ・カリキュラム会議において、日常の保育の事例研究に取り組み、保育に活かせるようにしています。 ・法人内で他の園における実地研修を実施し、お互いの優れた技術を学ぶようにしています。

<p>V-2-(2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実績を評価し、改善に努める仕組みがあるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等一人一人が、自己評価し、それを文章化できるように計画や記録の書式が定型化されています。 ・保育士は、毎日、日誌に振り返りを記入して、改善点や反省点を自ら顧みることができます。 ・年度末には、法人共通の自己評価チェックリストを用いて自己評価を行い、自己の実践の改善やその後の計画作成に反映させています。 ・自己評価が、計画で意図した保育のねらいと関連付けて行われているか、子どもの育ちや意欲や取り組む過程などを重視しているかを、職員会議やカリキュラム会議などで確認しています。
<p>V-2-(3)保育士の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価をおこなっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の振り返りを担任同士で話し合い、お互いの振り返りを共有するようにしています。 ・振り返りをクラス単位で確認し、さらに園長がその内容を確認しています。 ・保育士等の自己評価の結果から、保育所としての課題が明らかになり、優先順位を付けて、課題の改善に取り組んでいます。 ・保育所としての自己評価が、保育所の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われているかを、毎月開催される職員会議やカリキュラム会議の場で確認しています。 ・保育所としての自己評価（管理職による自己点検・自己評価）を、ホームページ上で公表しています。 ・他園の第三者評価などをPC上で閲覧し、参考にすることで、自園の向上につなげています。

<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人が定めた人材像（経営、運営、熟練、中堅、初級）が期待水準として示されています。 ・年度初めに業務分担及び年間行事計画を決め、可能な限り権限を各職員に委譲し、各職員が自主的に進められるようになっています。 ・ヒアリハットで、職員が気づいた点を吸い上げる仕組みや口頭による提案も受け付けています。提案された事項は、多くの職員が集まる昼のミーティングや職員会議などで検討します。 ・行事を担当する保育士は、行事計画表を作成して、行事のねらい、行事に参加する職員の役割分担、事前準備、当日のスケジュールなどを明確にします。 ・園長は、個人面談やリーダー会議などの場で意見交換をし、職員の満足度・要望などを把握しています。面談では個人の年間目標について話し合い、そのためにすべきことを計画します。中間期や年度末に再度面談し、進捗状況について話し合い、成果を確認し、次の課題へとつながるようにしています。新人職員に対してはプリセプター制度で先輩職員を助言者に指名し、4半期毎の目標
--------------------------	----------	---

		<p>設定、振り返りをします。園長は、助言者からの情報や本人との面談で、満足度や要望を把握しています。</p>
<p>V-3-1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人が定めた人材像（経営、運営、熟練、中堅、初級）が期待水準として示されています。 ・年度初めに業務分担及び年間行事計画を決め、可能な限り権限を各職員に委譲し、各職員が自主的に進められるようになっています。 ・ヒアリハットで、職員が気づいた点を吸い上げる仕組みや口頭による提案も受け付けています。 ・提案された事項は、多くの職員が集まる昼のミーティングや職員会議などで検討します。 ・行事を担当する保育士は、行事計画表を作成して、行事のねらい、行事に参加する職員の役割分担、事前準備、当日のスケジュールなどを明確にします。 ・園長は、個人面談やリーダー会議などの場で意見交換をし、職員の満足度・要望などを把握しています。 ・面談では個人の年間目標について話し合い、そのためにすべきことを計画します。中間期や年度末に再度面談し、進捗状況について話し合い、成果を確認し、次の課題へとつながるようにしています。 ・新人職員に対してはプリセプター制度で先輩職員を助言者に指名し、4半期毎の目標設定、振り返りをします。 ・園長は、助言者からの情報や本人との面談で、満足度や要望を把握しています。

評価領域VI 経営管理

<p>VI-1 経営における社会的責任</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員および非常勤職員は、コンプライアンス・カードを常に携行し、会議ごとを守るべきルールや法令等について確認しています。 ・法人及び本園の経営や運営状況等の情報が、法人のホームページに積極的に公開されています。 ・日々のミーティングや会議などで日常業務の中で気づいた点を出し合い、不正・不適切な行為を行わないよう話し合っています。 ・人材育成体系内にある「求められる職員像」に、環境への考え方や取り組みが明文化され、園の運営に活かされています。入社時に人事育成体系を渡され、園長との面談で、体系について話し合うようにしています。 ・職員が個人的に排出したゴミは持ち帰りするなど、ゴミに関する意識を高め、ゴミの減量化を図っています。例えば、内部で使うレジメなどのコピーは裏紙を使用するようにしています。
-------------------------	----------	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の部屋を区切る場合など、牛乳パックの空箱を一列に並べてパーテーションを作って区切るなどの工夫をしています。 ・保育室や廊下などの照明で不要な時間帯には消したり、水の出っぱなしを無くしたり、注意を喚起する「節電」「節水」のステッカーを貼るなどして、「節電」「節水」に努めています。 ・「節電」「節水」に関しては、園児も年齢相応に注意できるようにと保育の中に位置づけています。
VI-1-(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員および非常勤職員は、コンプライアンス・カードを常に携行し、会議ごとに守るべきルールや法令等について確認しています。 ・法人及び本園の経営や運営状況等の情報が、法人のホームページに積極的に公開されています。 ・日々のミーティングや会議などで日業務の中で気づいた点を出し合い、不正・不適切な行為を行わないよう話し合っています。
VI-1-(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への考え方や取り組みが明文化され、園の運営に活かされています。 ・職員が個人的に排出したゴミは持ち帰りするなど、ゴミに関する意識を高め、ゴミの減量化を図っています。 ・園内部で使うレジメなどのコピーは裏紙を使用するようにしています。 ・保育室や廊下などの照明で不要な時間帯には消したり、水の出っぱなしを無くしたり、注意を喚起する「節電」「節水」のステッカーを貼るなどして、「節電」「節水」に努めています。 ・「節電」「節水」に関しては、園児も年齢相応に注意できるようにと保育の中に位置づけています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の基本理念・基本方針を記載したカード、園目標・保育姿勢を記載したカードを、全職員は常に携行し、職員会議などで読み合わせなどを行い、理解度を深めるようにしています。 ・園長は、職員が基本理念・基本方針を理解・行動しているかを、カリキュラム会議、職員会議、年3回の個人面談などで確認し、不適切であれば気づきを与えるようにします。 ・重要な意思決定にあたり、園長は保護者会の役員会と継続的に意見交換し、保護者会の要望を反映するようにしています。 ・保育サービス変更などの重要な意思決定をする際には、リーダー会議（クラスのリーダー、栄養士、事務で構成する）を招集し、意見の集約をはかり、決めるようにしています。決めたことは、職員会議などの場で職員に説明をします。 ・重要な意思決定をした例としては、保護者会から提案されたカメラ購入の資金提供を受けること、オムツの持ち帰りを不要にすることなどがあります。
-------------------------	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の事例発表会で、「地域に開かれた保育園」というテーマで発表するときは、保育士・調理士・事務がプロジェクトを組み、何度も練り直して発表しました。 ・今年度の事情により主任不在となったことから、リーダーを集めてリーダー会議（クラスのリーダー、栄養士、事務で構成）を作り、主任の役割を分担して担うようにしています。各リーダーが主任の役割を分担しています。 ・法人内には、スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがあり、1月には2名の保育士が副主任に昇格しました。 ・主任クラスの職員は、個々の職員の業務状況を把握し、職員の能力や経験にあわせた的確な助言や指導を行うとともに、家庭状況も把握し、精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っています。
VI-2-1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の基本理念・基本方針を記載したカード、園目標・保育姿勢を記載したカードを、全職員は常に携行し、職員会議などで読み合わせなどを行い、理解度を深めるようにしています。 ・園長は、職員が基本理念・基本方針を理解・行動しているかを、カリキュラム会議、職員会議、年3回の個人面談などで確認し、不適切であれば気づきを与えるようにします。
VI-2-2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な意思決定にあたり、園長は保護者会の役員会と継続的に意見交換し、保護者会の要望を反映するようにしています。 ・保育サービス変更などの重要な意思決定をする際には、リーダー会議（クラスのリーダー、栄養士、事務で構成する）を招集し、意見の集約をはかり、決めるようにしています。決めたことは、職員会議などの場で職員に説明をします。 ・法人内の事例発表会で、「地域に開かれた保育園」というテーマで発表するときは、保育士・調理士・事務がプロジェクトを組み、何度も練り直して発表をしました。
VI-2-3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の役職規定により主任を任命できないことから、主任クラスであるリーダーを集めてリーダー会議（クラスのリーダー、栄養士、事務で構成）を作り、主任の役割を担わせるようにしています。各リーダーが主任の役割を分担しています。 ・法人内には、スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがあります。 ・主任クラスの職員は、個々の職員の業務状況を把握し、職員の能力や経験にあわせた的確な助言や指導を行うとともに、家庭状況も把握し、精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っています。

<p>VI-3 効率的な運営</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市子ども青少年局や港北区子ども家庭支援課の担当者、外部のコンサルタント機関などから、事業運営に影響のある情報を収集し、分析をしています。 ・重要な情報は、リーダー会議で協議し、お互いの認識を深め、次の行動に結び付けるようにしています。姉妹園2園（寿福祉センター保育所、新山下二丁目保育園）とも、情報を共有、保育共通の認識がお互いに高まるようにしています。 ・経営理念や基本方針を実現するため、人権に配慮した保育が実現できるように、園内研修の一つとして「人権研修」を実施しています。 ・重要な改善課題の一つである給与制度の改定について、職員への周知など、保育所全体で取り組んでいます。 ・中期計画は、原則として、法人の本部が作成します。それに基づき、園は単年度の事業計画を作成します。建替えなどの重要なイベントがあるときは、5年計画を作成するようにします。 ・本園の近くに2保育園、港北区内に9保育園の設立が予定されており、保育園の事業環境が厳しくなることが予想されます。本園が保護者や保育士から選ばれるには、如何にすべきかを常に検討しています。 ・法人には、法人全体の人材育成体系（経営、運営、熟練、中堅、初級）があります。そこには、各層が必要とする人物像や必要な知識が記載されています。各層にあわせた研修（含保育制度の改定・法的なアドバイス）などを実施し、主任クラスなどの幹部職員を計画的に育成しています。 ・法人が外部機関にコンサルティングを依頼し、経営面、運用面、制度等の改定、法的な助言などの支援を受けています。
<p>VI-3-(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市子ども青少年局や港北区子ども家庭支援課の担当者、外部のコンサルタント機関などから、事業運営に影響のある情報を収集し、分析をしています。 ・重要な情報は、リーダー会議で協議し、お互いの認識を深め、次の行動に結び付けるようにしています。 ・姉妹園2園（寿福祉センター保育所、新山下二丁目保育園）とも、情報を共有、保育共通の認識がお互いに高まるようにしています。 ・経営理念や基本方針を実現するため、人権に配慮した保育が実現できるように、園内研修の一つとして「人権研修」を実施しています。 ・重要な改善課題の一つである給与制度の改定について、職員への周知など、保育所全体で取り組んでいます。

<p>VI-3-(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p> <p>市立保育園につき非該当</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画は、原則として、法人の本部が作成します。 ・中期計画に基づき、園は単年度の事業計画を作成します。建替えなどの重要なイベントがあるときは、5年計画を作成するようにします。 ・本園の近くに2保育園、港北区内に9保育園の設立が予定されており、保育園の事業環境が厳しくなることが予想されます。本園が保護者や保育士から選ばれるには、如何にすべきかを常に検討しています。 ・法人には、法人全体の人材育成体系（経営、運営、熟練、中堅、初級）があります。 ・人材育成体系には、各層が必要とする人物像や必要な知識が記載されています。各層にあわせた研修（含保育制度の改定・法的なアドバイス）などを実施し、主任クラスなどの幹部職員を計画的に育成しています。 ・法人が外部機関（株式会社浜銀総合研究所）にコンサルティングを依頼し、経営面、運用面、制度等の改定、法的な助言などの支援を受けています。
--	----------	--

保育観察／子ども本人聞き取りシート A

保育所名	大倉山保育園	調査日	0年1月22日及び25日	調査機関	(公社)けいしん神奈川
------	--------	-----	--------------	------	-------------

クラス (年齢)	時間帯	保育の様子・子どもの様子
0歳児 さくらん ぼ 組	1月25 日 11:00 ～11: 30	<p>8名の子どもが食事をしています。保育士3名が子ども2名乃至は3名に対してやさしく話しながらスプーンをゆっくり口に運んでいます。今日の献立は、パン、ミネストローネ、米粉のグラタン、カレー風味のインディアンベジタサラダです。細切れにした食パンやおかずを手づかみで食べたり順手握りでスプーンを持っておかずを食べたり笑顔で食事をしています。1歳8か月の女の子に「おいしいですか」と尋ねると、こっちを向いて持ってたパンを差出しにっこり笑ってうなずきます。アンパンマンと言うと、エプロンの下の着ているTシャツのアンパンマンを指差し片言で「アンパンマン、アンパンマン」と答えてくれます。帰る時「バイバイ」というと「バイバイ」と笑顔で手を振ってくれます。</p>
1歳児 もも 組	1月25 日 11:10 ～11: 40	<p>1歳児の昼食を観察した。昼食の前で園児がエプロンして椅子に座っており、保育士の先生が紙皿で作った豚さんがおにぎりを食べている絵の紙芝居をして、園児の興味を引いていた。中には観察している我々が気になるのか、後ろの我々を見ている子もいた。そこで保育士の先生が園児の席に配膳をしていた。今日のメニューはパン、ミネストローネ、米粉のグラタン、サラダで、保育士の先生が「手はおひらき、手をぱっちん、めしあがれ」の合図で昼食の開始。皆スプーンを使って楽しそうに食べていた。保育士の先生が皆のエプロンを手で直しつつ、園児と楽しく食べていた。帰りに「バイバイ」と言ったら、皆手を振ってくれた。</p>
2歳児 れもん 組	1月25 日 11:25 ～11: 45	<p>評価調査員が部屋に入ると、二人の園児による昼食当番が「それでは一緒にめしあがれ・・・」との掛け声で、昼食が始まりました。当番は、エプロンを脱いで、自分の席に座り、昼食を摂り始めました。部屋は、昼食用と午睡用のエリアの二つのエリアに区切られていました。午睡用のエリアには、既にコット(キャリーベッド)敷かれていました。昼食用のエリアには、テーブルが4つあり、各テーブルには保育士と4人～6人の園児が座っていました。昼食のメニューは、パン、ミネストローネ(主にトマトを使ったイタリアの野菜スープ)、米粉のグラタン、人参・胡瓜・コーンなどの彩の豊かなインディアンベジタサラダです。園児Aは、パンを片手に持ち、もう一方の手でパンを千切り、口に運んでいました。園児Bが、スープのお椀を両手で唇まで運び、スープをすすっていました。それからスープのお椀をテーブルに置き、お椀の中にある野菜を、スプーンを使って食べていました。園児Cは、サラダにあるコーンをスプーンですくい上げ、「これコーンだね!」と周りの園児に話しかけながら、口に運んでいました。周りに居る他の園児が「コーンだ!」と、返事しながら、胡瓜をスプーンですくい上げ、「胡瓜だ!」と周りの園児に話しかけながら、口に運んでいました。お隣にいる園児やテーブルの向こう側にいる園児たちと、キャッキヤとお話ししながら、昼食を摂っていました。中には、昼食が進んでいない園児が居り、保育士が支援をしていました。</p>

保育観察／子ども本人聞き取りシート A

保育所名	大倉山保育園	調査日	0年1月22日及び25日	調査機関	(公社)けいしん神奈川
------	--------	-----	--------------	------	-------------

クラス (年齢)		保育の様子・子どもの様子	子ども本人からの聞き取り
3歳児 いちご組	1月22日 11:10 ～11:40	<p>3歳児クラスで昼食をした。皆着席し、今日の当番2人が、前で保育士の先生が入れた容器を、園児の座っている席に配膳し、終わると当番の「いただきます」の合図で食事開始。今日のメニューはすき焼き風焼き豆腐、ほうれんそうとサツマイモのサラダ、みそ汁、御飯、デザートのリんごで、私の隣にはAちゃん、Bちゃんを含め4人で同席した。隣のAちゃんはよくお話しをし、「私のマークは〇〇」、「私の作った作品これ」、「私の棚」、「私の午睡のコツ」、「親の名前、姉妹のこと」など私に教えていた。他の3人もそれに呼応して、それぞれしゃべっていた。「今日の献立はなに？」と聞くと、Aちゃんは前の壁にかかっていたメニュー表をみて「好きや風焼き豆腐」と答えてくれた。「字が読めるの？」と聞くと、「私ひらがなと英語知っている。テレビ見ているから」と答えてくれた。</p>	<p>「今日の献立はなに？」と聞くとAちゃんは前の壁にかかっていたメニュー表をみて「好きや風焼き豆腐」と答えてくれた。「字が読めるの？」と聞くと、「私ひらがなと英語知っている。テレビ見ているから」と答えてくれた。</p>
4歳児 とまと組	1月22日 11:35 ～12:00	<p>これから楽しい給食の時間です。食事の前のひとときは保育士が紙芝居を読み聞かせています。子どもたちは保育士の紙芝居に静かに聞き入っています。給食室から食事が届くと、キャップとエプロンかけた当番2名がきびきびとした動作で全員に箸やご飯を配っています。子どもたちは楽しそうに話し合いながら椅子に座って待っています。配膳が終わると当番がみんなの前で「とまとさんご用意はいいですか。皆さんと一緒に、いただきます。どうぞめしあがれ」と唱えるときみんなから「当番さんめしあがれ」と応え食事が始まります。</p>	<p>気の合った子どもがおしゃべりをしながら楽しそうに食事をしています。周りの子どもから「名前は何というの、どこから来たの」と声をかけられます。「給食おいしいですか」と声をかけるとあちこちから「おいしいです」と元気な声が返ってきます。</p>
5歳児 めろん組	1月22日 11:40 ～12:20	<p>部屋には、2個の大きなテーブルがあり、各テーブルには、約10人の子どもが座り、卒園製作で自画像を描いています。部屋の壁には、本日の給食当番であるお二人の子ども顔と名前が掲示されています。保育士Aが、自画像を皆に見せながら「これだれの顔かな？」と問いかけると、「僕のだ！」と大きな声で返事がありました。絵を乾燥させるため、保育士Aがドライラックに収納しました。保育士Aが次の自画像を取り上げて、「前髪がザクザク・これだれの顔かな？」と問いかけると、「〇〇ちゃん」と大きな声で応答があり、ドライラックに収納しました。このような問いかけと応答が続く中で、給食当番の子ども二人が、エプロンを付け、配膳を始めました。汁椀は、保育士Bが配膳をしました。全員の自画像をドライラックに収納した後、保育士Bが、「おにろく」の絵本を取り上げ、「2月3日は何の日？」と問いかけると、子ども達が「おにの日」と大きな声で応えました。保育士Bが「おにろく」を読み始めると、ザワザついていた空気がおさまり、静かに子どもたちが聞いています。「おにろく」が読み終わると、保育士Aが「栄養士の先生からお話があります」と話されました。栄養士の先生から「3月の献立には、皆さんがリクエストしたものを用意したい。好きなものを先生に伝えて下さいね。今日の献立のすき焼きふう煮には焼き豆腐が入っているので、よく見てよく食べて。」との話がありました。二人の当番が前に出て「メロンさん、用意はいいですか」と声掛けすると、全員が「いいですよ」と大きな声で返事をし、お二人から「それでは、一緒にめしあがれ、どうぞ」と号令がかかり、昼食がスタートしました。勢いよく食べる子、ゆっくり食べる子、…各々のペースに食べ始めました。なかには、ご飯だけでは足りず、お握りを追加で食べる子もいました。お握りには、</p>	<p>評価調査員も一緒に食事をしました。隣の子に、「何が一番好きなの？」と問いかけましたら、「すき焼き」と返事がかえってきました。さらに、「じゃあー、今日のすき焼きふう煮かな？」と、さらに問いかけましたところ「卵が入っているのがいいな」との返事でした。評価調査員が首からぶら下げているネックホルダーと万歩計に興味を持ち、「きらきらしているのはなあーに？」と問いかけてきました。「小さなビーズ玉を貼り付けたから、キラキラ輝いているんだよ」と応えました。さらに、「ながくしたり、みじかくしたりするのは、どのようにするの？」と問いかけてきましたので、ホルダーの裏側にあるボタンを押しながら、ネックホルダーの伸縮の様子を見せてあげました。</p>
備考			

利用者アンケート結果

[結果の特徴]

◆実施方法

- ・ 保育園から全園児の保護者に配布し、無記名にて回答。
- ・ 各保護者がアンケート結果を郵送し、評価機関が回収。

◆配布数：92 回答数：79 回収率：85.9%

※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

◆園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて約65%で、その基本理念や基本方針について、「賛同できる」と、「まあ賛同できる」と答えた保護者を合わせた割合も約65%で保護者の賛同を得ています。

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的高かった項目（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が90%以上）は下記のとおりです。

○保育園のサービス内容について

- ・ 見学の受け入れについて (91.1%)
- ・ 入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応について (96.2%)
- ・ 保育園での1日の過ごし方についての説明について (92.4%)
- ・ 費用やきまりに関する説明について (98.2%)

○日常の保育内容について

「遊び」

- ・ 園のおもちゃや教材について (94.9%)

「生活」

- ・ 給食の献立内容について (96.2%)
- ・ お子さんが給食を楽しんでいるかについて (98.7%)
- ・ 基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについて (93.6%)
- ・ お子さんの体調への気配りについて (92.4%)

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・ 施設設備について (95.0%)
- ・ お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて (97.5%)
- ・ 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について (91.1%)

○園と保護者との連携・交流について

- ・ 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について (91.1%)
- ・ 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応について (95.0%)

○職員の対応について

- ・ あなたのお子さんが大切にされているかについて (93.7%)
- ・ あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて (95.2%)

○保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか

- ・ 総合満足度は (98.8%)

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的低かった項目（「不満足」と「どちらかといえば不満足」を合わせた割合が20%以上）は、下記のとおりです。

- ・ 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについて (22.8%)

・子どもが戸外遊びを十分しているかについて(24.1%)

・外部からの不審者侵入を防ぐ対策について(26.6%)

◆自由意見について

○保育園に対する御礼や感謝のコメントが多数寄せられました。一方で園庭の狭さによる外遊び、オムツの持ち帰り、門の施錠管理、送り迎え時の保育士の対応についての要望がありました。

◆まとめ

○総合満足度は98.8%と極めて高くなっています。

○日常の保育内容(「遊び」と「生活」)に対する満足度が高く、子どもが楽しく充実した日々を過ごしていることを実感し、園に対する信頼と感謝の気持ちの表れと思われま

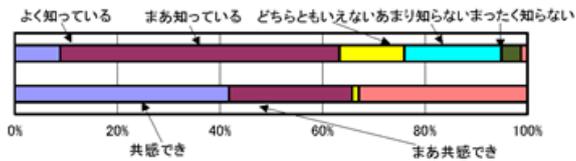
利用者アンケート集計結果（グラフ表示）

調査対象保育園：大倉山保育園

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1

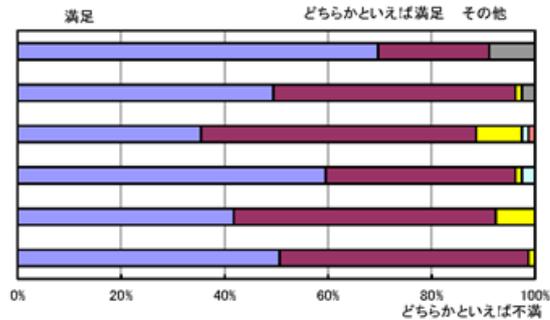
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか
 あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



■ 保育園のサービス内容について

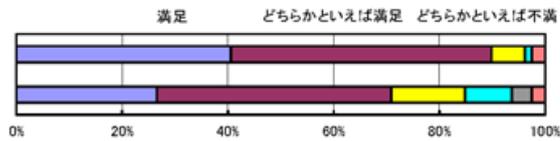
問2 お子さんが入園する時の状況について

見学の受け入れ方について
 入園前の見学や説明など、園からの情報提供について
 園の目標や方針についての説明には
 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを
 保育園での1日の過ごし方についての説明には
 費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）



問3 保育や行事の年間計画について

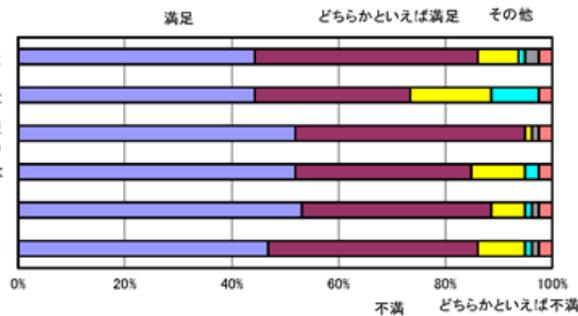
年間の保育や行事についての説明には
 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては



問4 日常の保育内容について

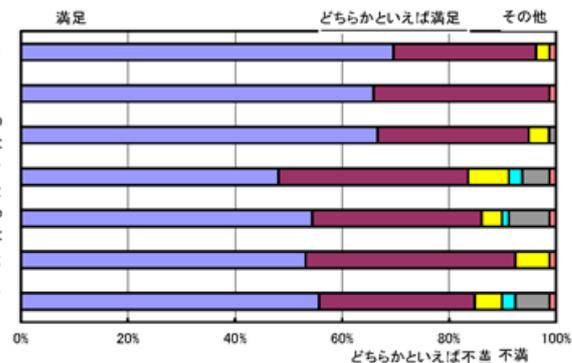
「遊び」について

クラスの活動や遊びについては
 子どもが戶外遊びを十分しているかについては
 園のおもちゃや教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）
 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については
 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては
 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては

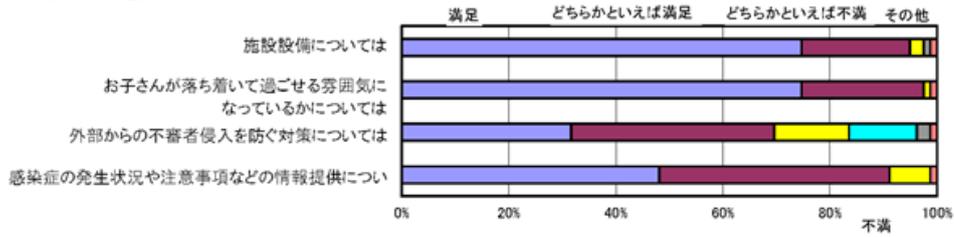


「生活」について

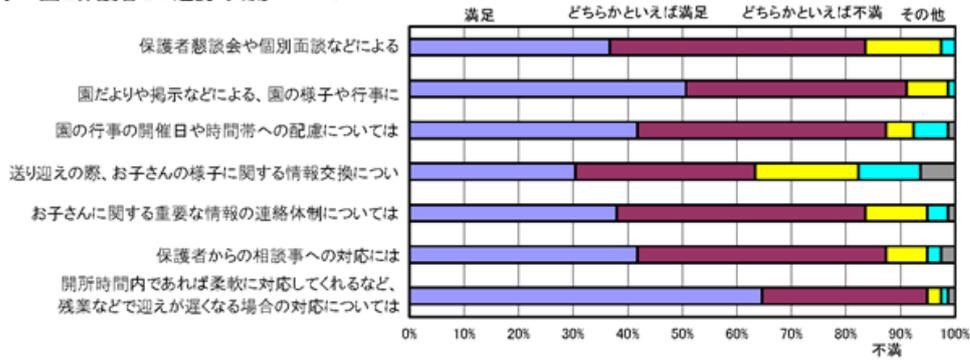
給食の献立内容については
 お子さんが給食を楽しんでいるかについては
 基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては
 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては
 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては
 お子さんの体調への気配りについては
 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には



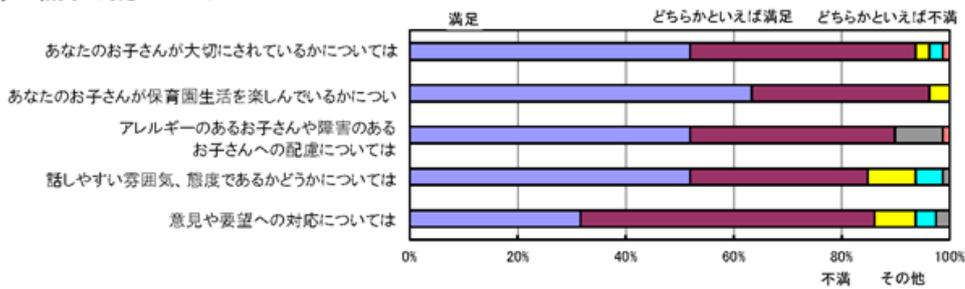
問5 保育園の快適さや安全対策などについて



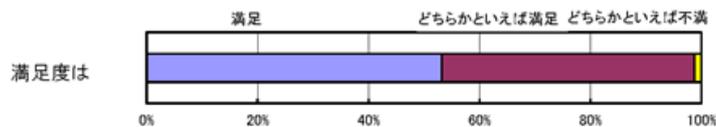
問6 園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しています



■結果の特徴

大倉山 保育園

アンケート回収率

送付数:

回答数: 79

保育園に対する満足度は「満足」、「どちらかといえば満足」を加えると91.5%となっており、満足度は非常に高いです。

園の保育目標・保育方針については、81.3%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の91.7%がその目標に賛同しています。

とくに満足度の高い項目(「満足」が60%以上)

日常保育の内容である「遊び」の「子どもが戸外遊びを十分しているか」や「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組み」、「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」、「生活」では「給食の献立内容」や「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」、「保護者との連携・交流」の「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」については満足度が特に高いです。

とくに満足度が低い項目(「どちらかといえば不満」と「不満」の合計が20%以上)

「年間の保育や行事についての説明」、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」、「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」については満足度が低いです。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらかといえばいい	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
(A)	7	43	10	15	3	1	79
(B)	8.9%	54.4%	12.7%	19.0%	3.8%	1.3%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらかといえばいい	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	33	19	1	0	0	26	79
	41.8%	24.1%	1.3%	0.0%	0.0%	32.9%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	55	17	0	0	7	0	79
	69.6%	21.5%	0.0%	0.0%	8.9%	0.0%	100.0%
その他	.						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	39	37	1	0	2	0	79
	49.4%	46.8%	1.3%	0.0%	2.5%	0.0%	100.0%
その他	.						
園の目標や方針についての説明については	28	42	7	1	0	1	79
	35.4%	53.2%	8.9%	1.3%	0.0%	1.3%	100.0%
その他	.						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	47	29	1	2	0	0	79
	59.5%	36.7%	1.3%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	.						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	33	40	6	0	0	0	79
	41.8%	50.6%	7.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	.						
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	40	38	1	0	0	0	79
	50.6%	48.1%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	.						

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	32	39	5	1	0	2	79
	40.5%	49.4%	6.3%	1.3%	0.0%	2.5%	100.0%
その他							
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	21	35	11	7	3	2	79
	26.6%	44.3%	13.9%	8.9%	3.8%	2.5%	100.0%
その他							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	35	33	6	1	2	2	79
	44.3%	41.8%	7.6%	1.3%	2.5%	2.5%	100.0%
その他							
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	35	23	12	7	0	2	79
	44.3%	29.1%	15.2%	8.9%	0.0%	2.5%	100.0%
その他							
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いているか、年齢にふさわしいかなど)	41	34	1	0	1	2	79
	51.9%	43.0%	1.3%	0.0%	1.3%	2.5%	100.0%
その他							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	41	26	8	2	0	2	79
	51.9%	32.9%	10.1%	2.5%	0.0%	2.5%	100.0%
その他							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	42	28	5	1	1	2	79
	53.2%	35.4%	6.3%	1.3%	1.3%	2.5%	100.0%
その他							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	37	31	7	1	1	2	79
	46.8%	39.2%	8.9%	1.3%	1.3%	2.5%	100.0%
その他							

「生活」について	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	55	21	2	0	0	1	79
	69.6%	26.6%	2.5%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
	その他						
お子さんが給食を楽しんで いるかについては	52	26	0	0	0	1	79
	65.8%	32.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
	その他						
基本的な生活習慣(衣服の着 脱、手洗いなど)の自立に向 けての取り組みについては	52	22	3	0	1	1	79
	65.8%	27.8%	3.8%	0.0%	1.3%		100.0%
	その他						
昼寝や休憩がお子さんの状 況に応じて対応されている かなどについては	38	28	6	2	4	1	79
	48.1%	35.4%	7.6%	2.5%	5.1%	1.3%	100.0%
	その他						
おむつはずしは、家庭と協 力し、お子さんの成長に合 わせて柔軟に進めているか については	43	25	3	1	6	1	79
	54.4%	31.6%	3.8%	1.3%	7.6%	1.3%	100.0%
	その他						
お子さんの体調への気配り については	42	31	5	0	0	1	79
	53.2%	39.2%	6.3%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
	その他						
保育中にあつたケガに関す る保護者への説明やその後 の対応には	44	23	4	2	5	1	79
	55.7%	29.1%	5.1%	2.5%	6.3%	1.3%	100.0%
	その他						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	59	16	2	0	1	1	79
	74.7%	20.3%	2.5%	0.0%	1.3%	1.3%	100.0%
その他							
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	59	18	1	0	0	1	79
	74.7%	22.8%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
その他							
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	25	30	11	10	2	1	79
	31.6%	38.0%	13.9%	12.7%	2.5%	1.3%	100.0%
その他							
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	38	34	6	0	0	1	79
	48.1%	43.0%	7.6%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
その他							

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	29	37	11	2	0	0	79
	36.7%	46.8%	13.9%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	40	32	6	1	0	0	79
	50.6%	40.5%	7.6%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	33	36	4	5	1	0	79
	41.8%	45.6%	5.1%	6.3%	1.3%	0.0%	100.0%
その他							
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	24	26	15	9	5	0	79
	30.4%	32.9%	19.0%	11.4%	6.3%	0.0%	100.0%
その他							
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	30	36	9	3	1	0	79
	38.0%	45.6%	11.4%	3.8%	1.3%	0.0%	100.0%
その他							
保護者からの相談事への対応には	33	36	6	2	2	0	79
	41.8%	45.6%	7.6%	2.5%	2.5%	0.0%	100.0%
その他							
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	51	24	2	1	1	0	79
	64.6%	30.4%	2.5%	1.3%	1.3%	0.0%	100.0%
その他							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切に されているかについては	41	33	2	2	0	1	79
	51.9%	41.8%	2.5%	2.5%	0.0%	1.3%	100.0%
	その他						
あなたのお子さんが保育園 生活を楽しんでいるかにつ いては	50	26	3	0	0	0	79
	63.3%	32.9%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
アレルギーのあるお子さん や障害のあるお子さんへの 配慮については	41	30	0	0	7	1	79
	51.9%	38.0%	0.0%	0.0%	8.9%	1.3%	100.0%
	その他						
話しやすい雰囲気、態度で あるかどうかについては	41	26	7	4	1	0	79
	51.9%	32.9%	8.9%	5.1%	1.3%	0.0%	100.0%
	その他						
意見や要望への対応につい ては	25	43	6	3	2	0	79
	31.6%	54.4%	7.6%	3.8%	2.5%	0.0%	100.0%
	その他						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	42	36	1	0	0		79
	53.2%	45.6%	1.3%	0.0%	0.0%		100.0%

大倉山保育園は、当法人へ移管されて今年で7年目となり、第三者評価は2度目の受審です。また、園舎の建て替えがされ、規模が拡大してからの運営では初の受審でした。

今回は、評価期間が十分には取れず、大きな行事の準備と並行しての評価の話し合いがあり、時間の捻出には相当の努力を要しました。

そのような状況ではありましたが、この評価は、私たちの日々の業務を振り返り、課題が確認できたという点で貴重な機会となりました。

とりわけ、自己評価の取りまとめの点では、印象深いことがありました。自己評価の全体まとめの結果、ランクは低いものでした。それをもとに改善策を出し合ったところ、「これはすでに取り組んでいる」「〇〇についてはもっと到達点は高いはずだ」といった意見が出され、見直しをしたところ、全体のランクがぐんと上がりました。これらの理由を探ったところ、「自分や自分のチームは取り組んでいる。が、他の人の様子が分からないから・・・」という状態での評価だったことが判明しました。そして、全体像が見えてきたら「こんなに頑張っているね。私たち！」と互いに労う思いも出されました。

このように、自己評価や訪問調査を受けたことが、本来業務とリンクし、職員間の連携を密にし、一体感を作り出すなどチーム力の向上に繋がったことを実感しています。

今後も、「保育の質の向上」には、多様な勤務形態の職員が一丸となって取り組むことが不可欠なことを肝に銘じ、課題と向き合ってまいります。

今回の受審に当たりまして、評価機関のご担当者様、調査員様には、あたたかく励ましていただき、お世話になりました。また、当園保護者の皆様にはお忙しい中、アンケート等にご協力をいただきました。皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

園長 池谷 功子